

春日部市 公共施設 マネジメント 基本計画

概要版

2017年度～2047年度
(平成29年度～平成59年度)



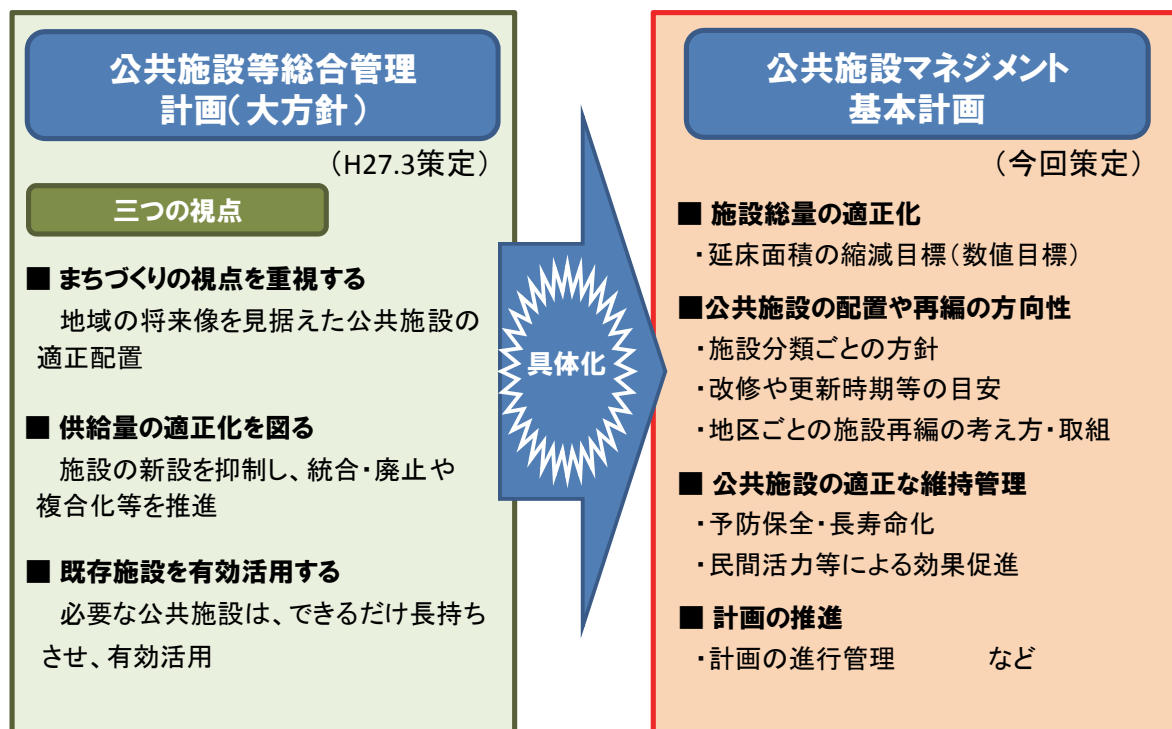
【 目 次 】

第1章 計画策定の背景	1
1 計画の理念・目的	
2 計画の位置付け	
3 計画期間	
4 公共施設の現状と課題	
第2章 全体方針編	10
1 基本方針	
2 取組方針	
3 全体目標	
4 ハコモノ施設の具体的な取組方法	
5 ハコモノ施設におけるシミュレーション	
第3章 施設分類別編	16
《施設分類ごとに》	
・施設概要	
・現状と課題	
・個別方針	
・第1期行動計画	
第4章 地区別編	30
《自治会連合会の地区区分に基づく7地区》	
・地区の概要	
・公共施設の状況	
・第1期行動計画	
第5章 計画の推進編	38
1 計画の推進体制	
2 計画の進行管理	

第1章 計画策定の背景

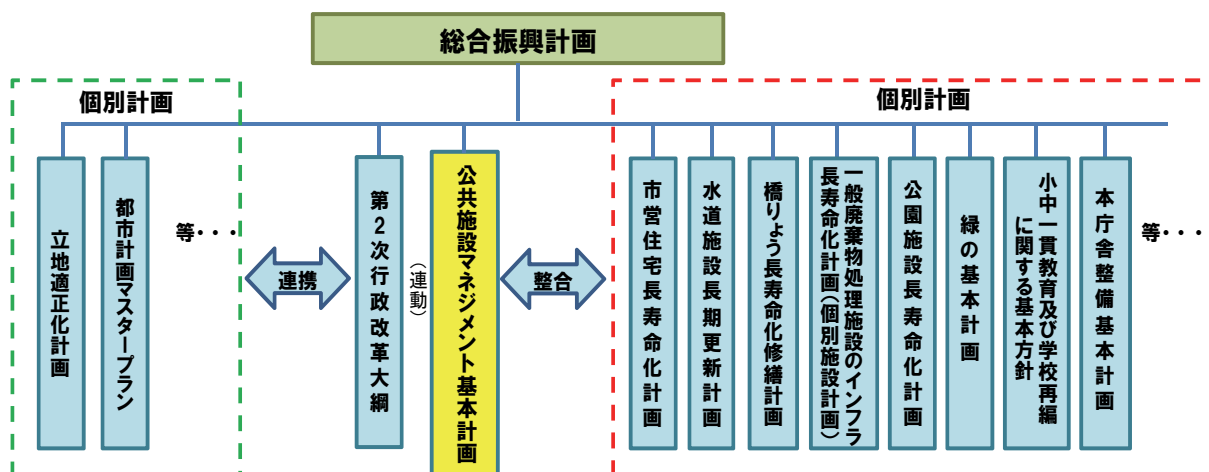
1 計画の理念・目的

- ✓平成27年3月に「公共施設等総合管理計画(大方針)」の策定、「公共施設白書」を作成しました。
- ✓「公共施設マネジメント基本計画」は、「公共施設等総合管理計画」の考え方を取り込み、具体化するものです。



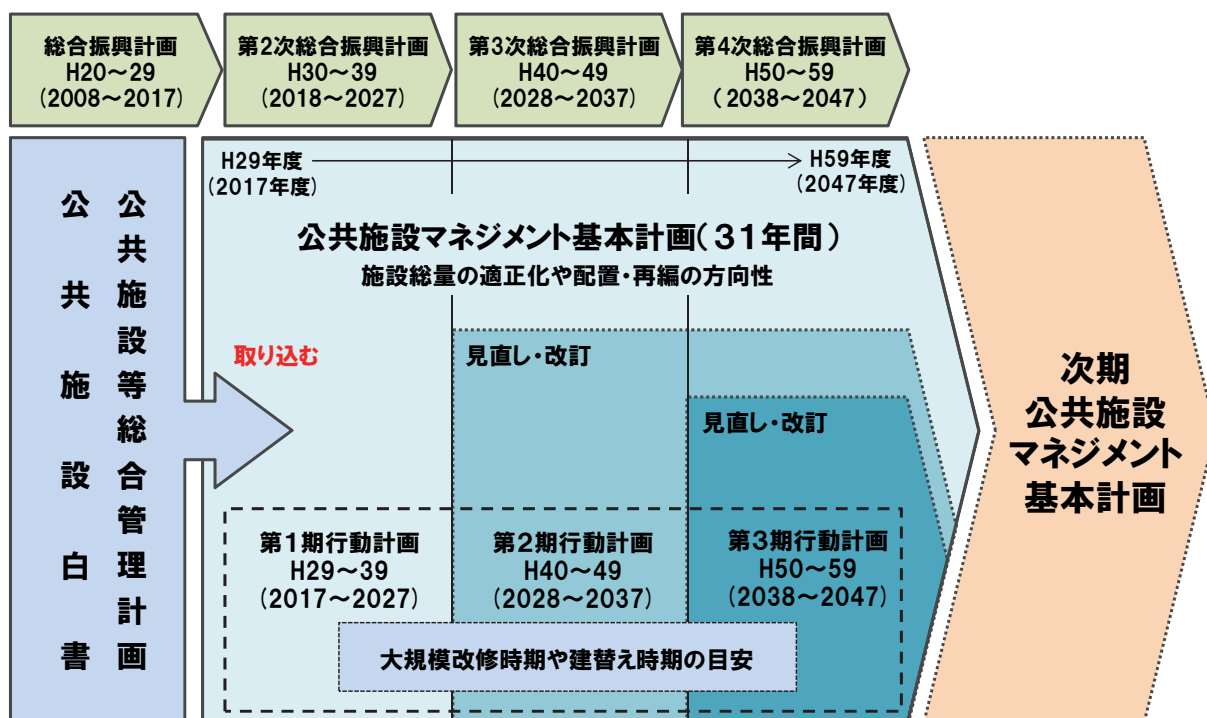
2 計画の位置付け

- ✓「公共施設マネジメント基本計画」は、「総合振興計画」を下支えするものです。
- ✓各種個別計画と連携や整合を図ります。



3 計画期間

- ✓計画期間は、平成29年度から平成59年度までの31年間とします。
- ✓10年ごと(第1期～第3期)に分け、行動計画を盛り込むものとします。

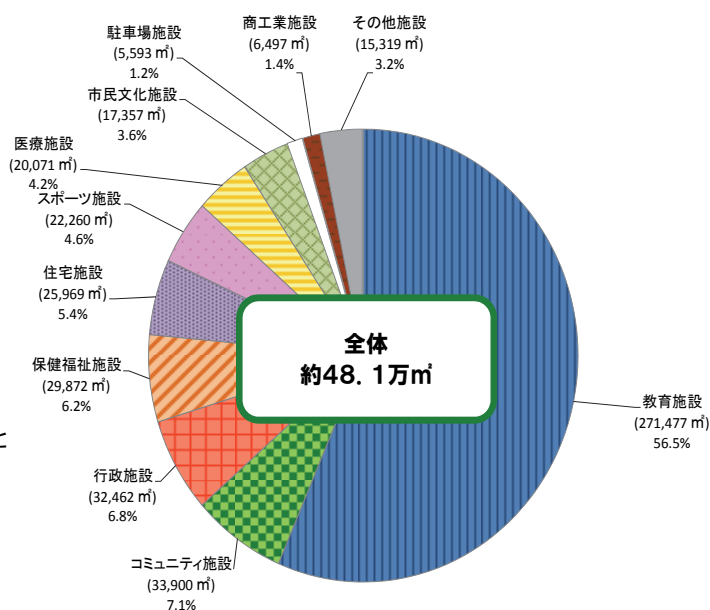


4 公共施設の現状と課題

(1) 公共施設の保有数量

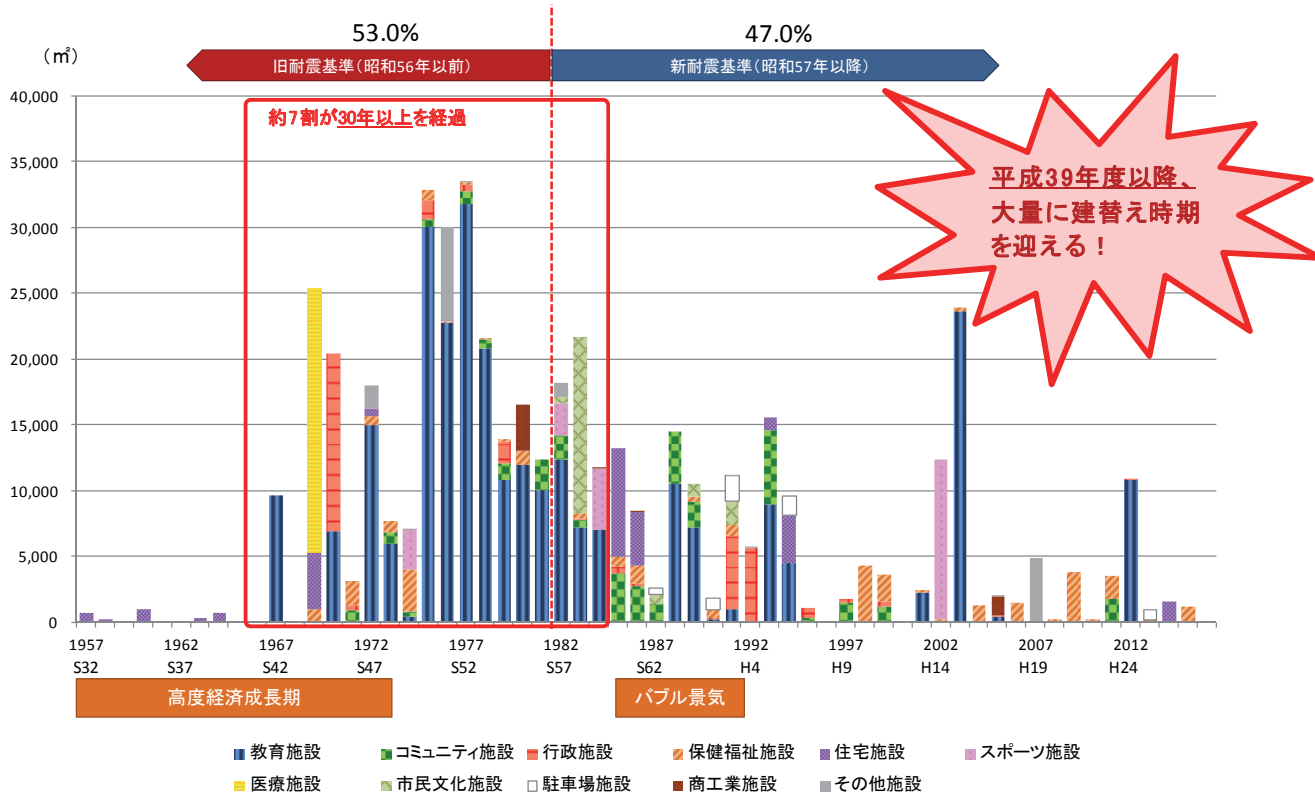
- ✓ハコモノ施設全体の延床面積は、約48.1万㎡(282施設)となります。(東京ドーム10個分に相当)
- ✓ハコモノ施設のうち、教育施設(小中学校)が 約56.5%を占めています。
- ✓主だったインフラ施設である道路、上下水道管を単純に合計すると約2,500Kmとなります。(北海道から沖縄までの直線距離に相当)

※数値は原則として平成26年度末時点の実績値となります。



(2) ハコモノ施設の築年別の整備状況

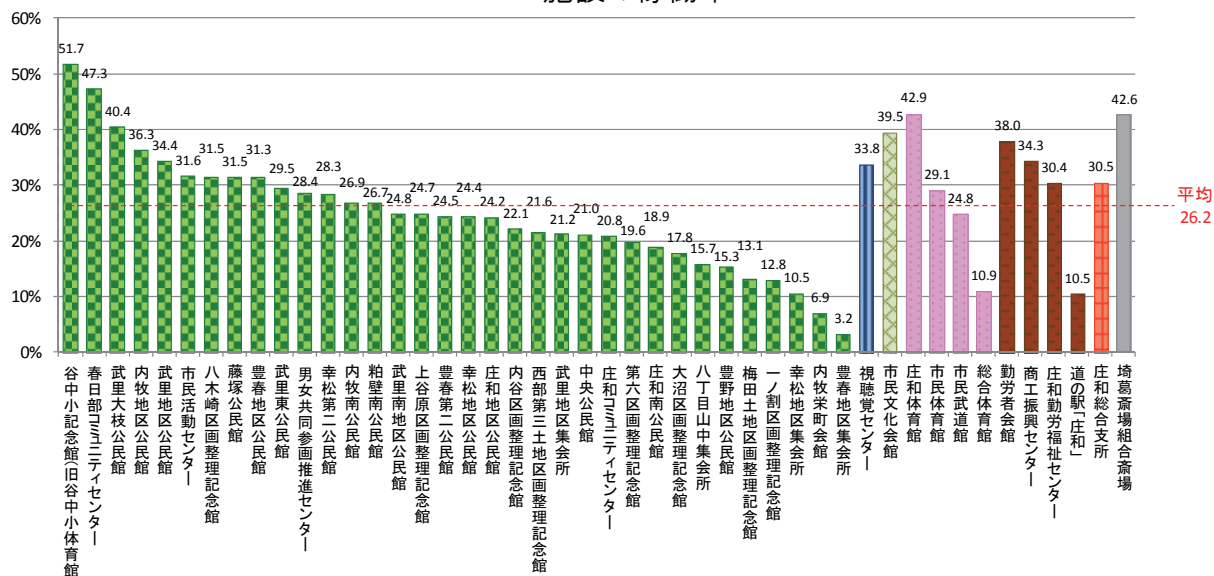
- ✓ 築30年以上が経過している建物が約7割(平成29年度時点)を占めています。
- ✓ これらの建物は、平成39年度以降、一斉に建替え時期を迎えます。



(3) 施設の稼働率

- ✓ 稼働率を算出できる施設の平均稼働率は、約26.2%となっています。(平成26年度実績)

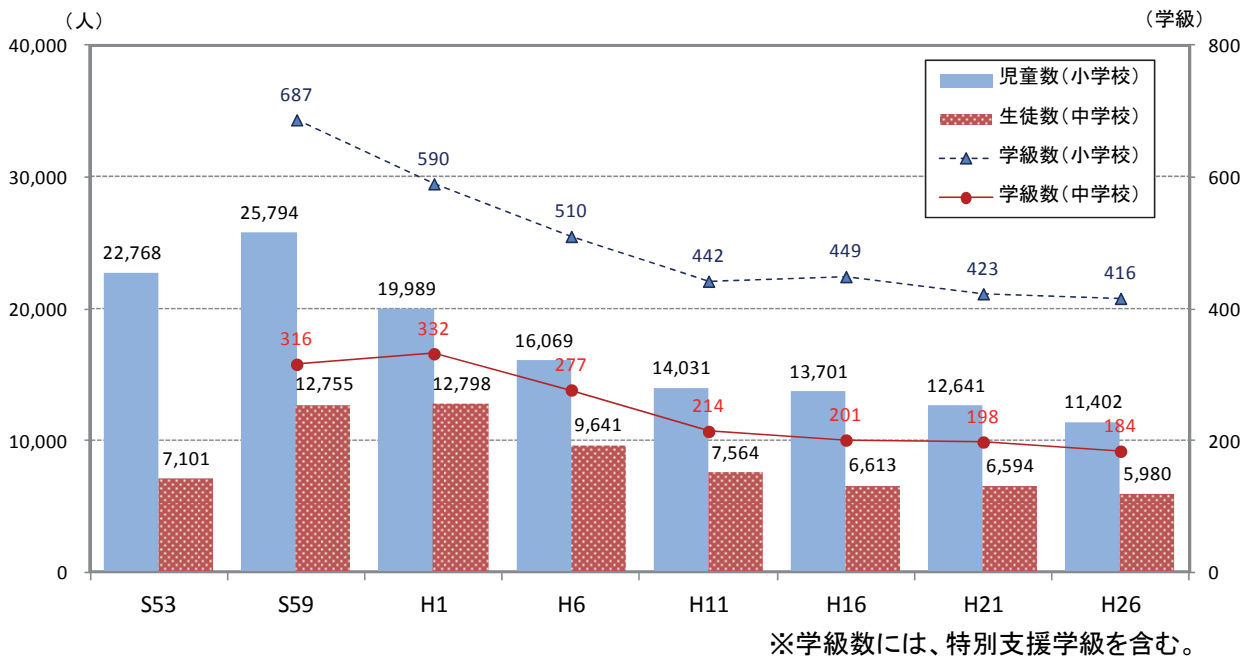
ハコモノ施設の稼働率



※稼働率の算出については、施設によって開館時間や貸出の時間単位等が異なる場合があるため、一定条件ではありません。

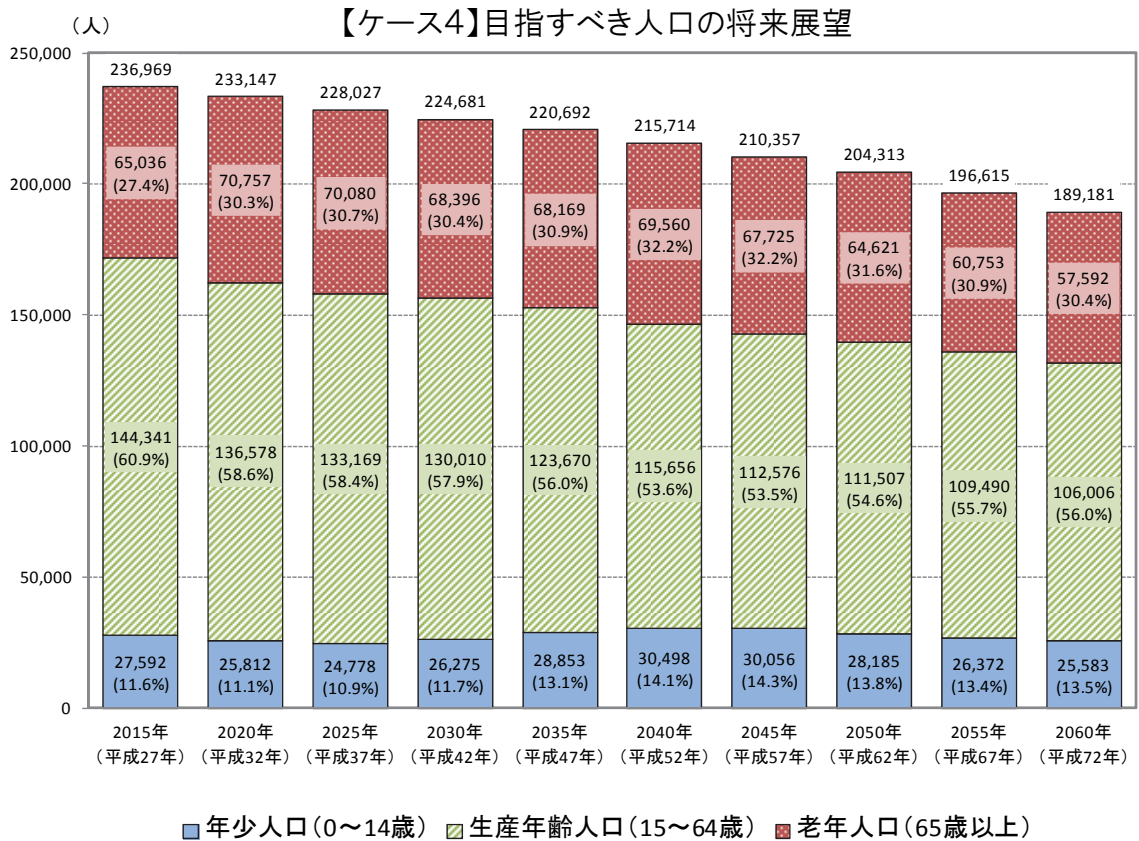
(4) 小・中学校の児童数・生徒数・学級数の推移

✓ピーク時と比較すると、小中学校の児童生徒数は概ね半減しています。



(5) 人口の現状と今後の見通し

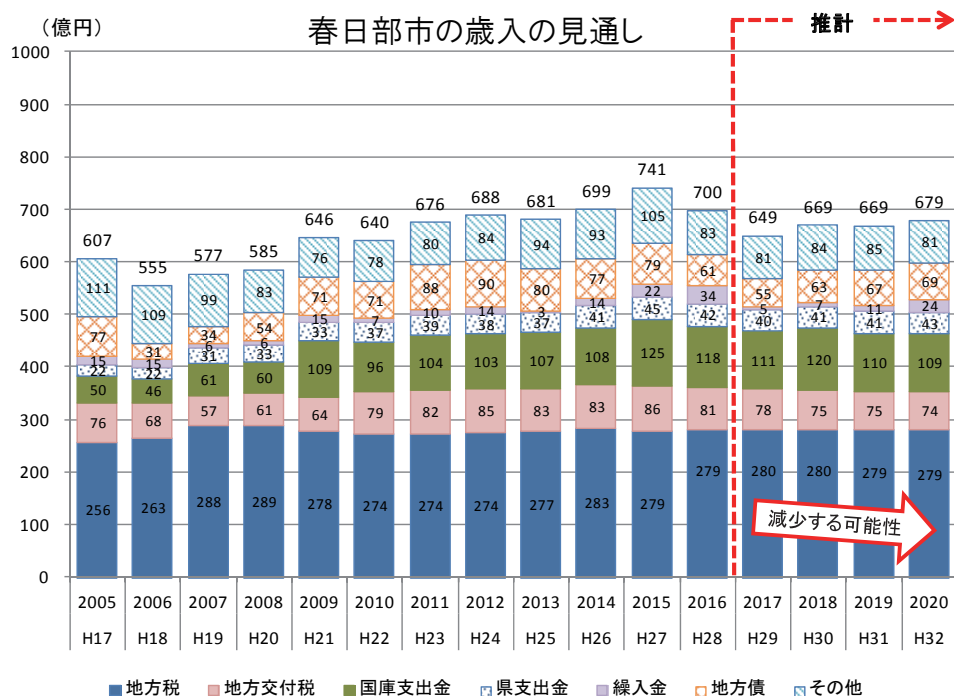
✓「春日部市人口ビジョン(平成28年3月)」では平成72年までの人口減少を約20%に留めることを目標としています。



(6) 財政の現状と課題

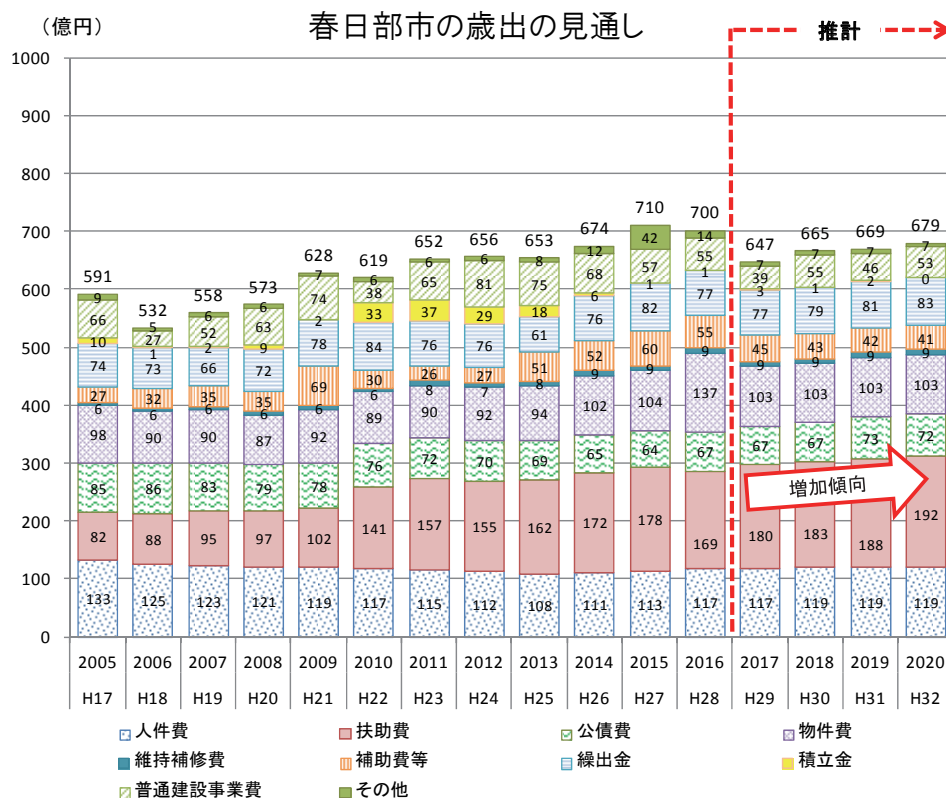
① 歳入

✓生産年齢人口の減少により、市税収入(歳入)が減少する可能性があります。



② 歳出

✓高齢化の進行等により、扶助費(歳出)が増加傾向にあります。



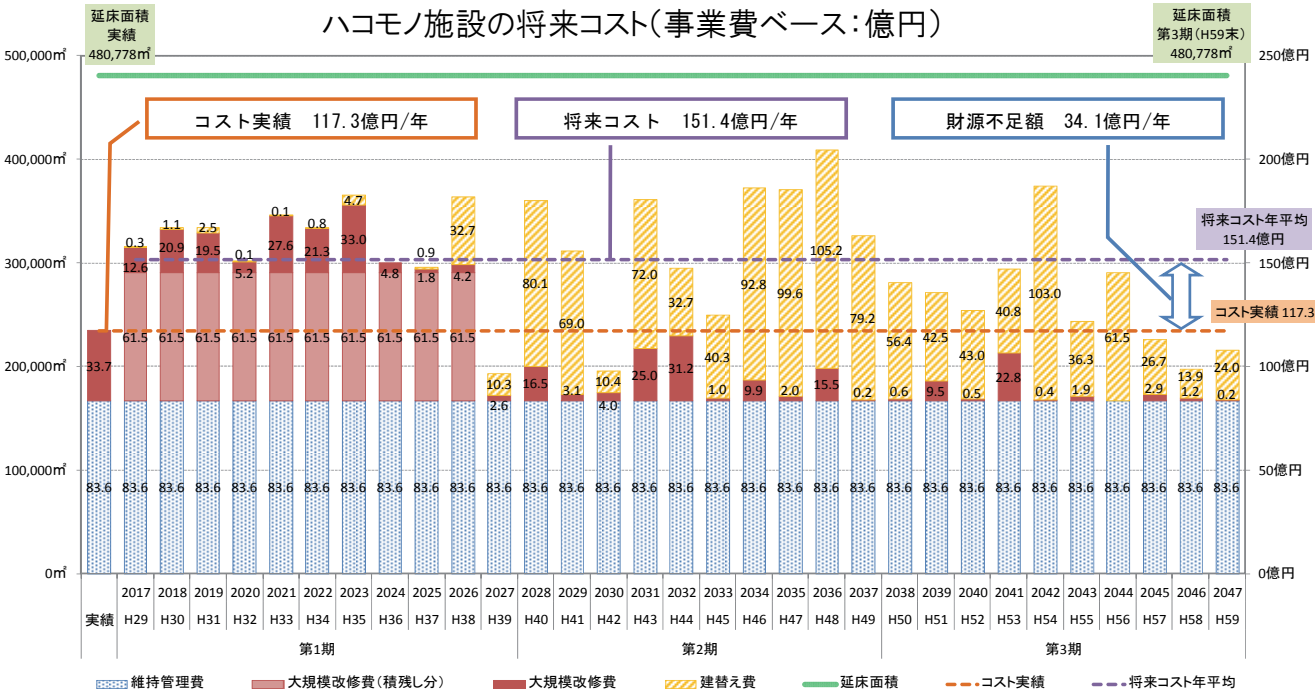
※平成27年度までは決算額、平成28年度は当初予算額、平成29～32年度は「春日部市新市建設計画」における推計値を記載しています。

※グラフに使用している数値は、端数処理の関係で合わない場合があります。

(7) 公共施設の将来コストの見通し

① ハコモノ施設

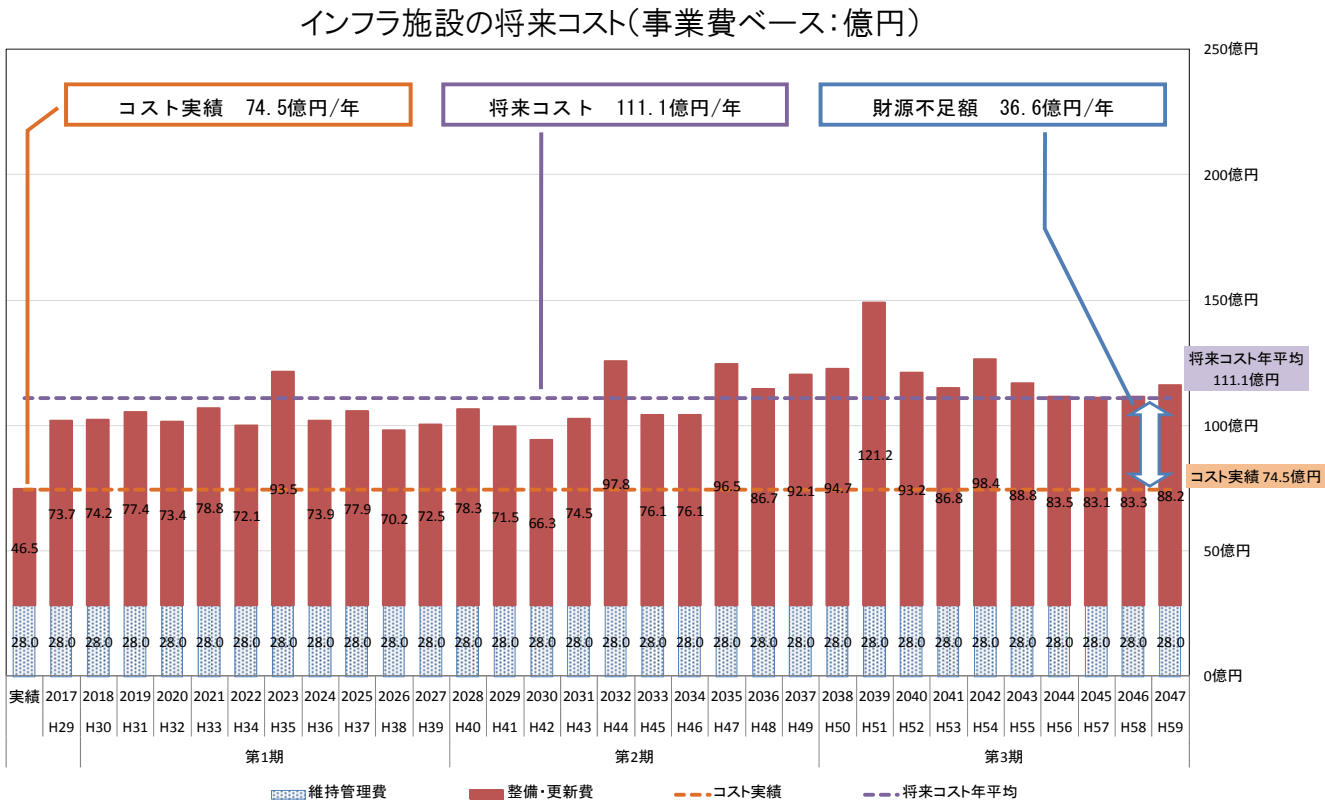
✓コスト実績と比較すると、約34.1億円/年の財源不足が見込まれます。



※「将来コスト」は一定条件(計画本編P20参照)に基づく推計値であり、今後の予算が確保されたものではありません。

② インフラ施設

✓コスト実績と比較すると、約36.6億円/年の財源不足が見込まれます。

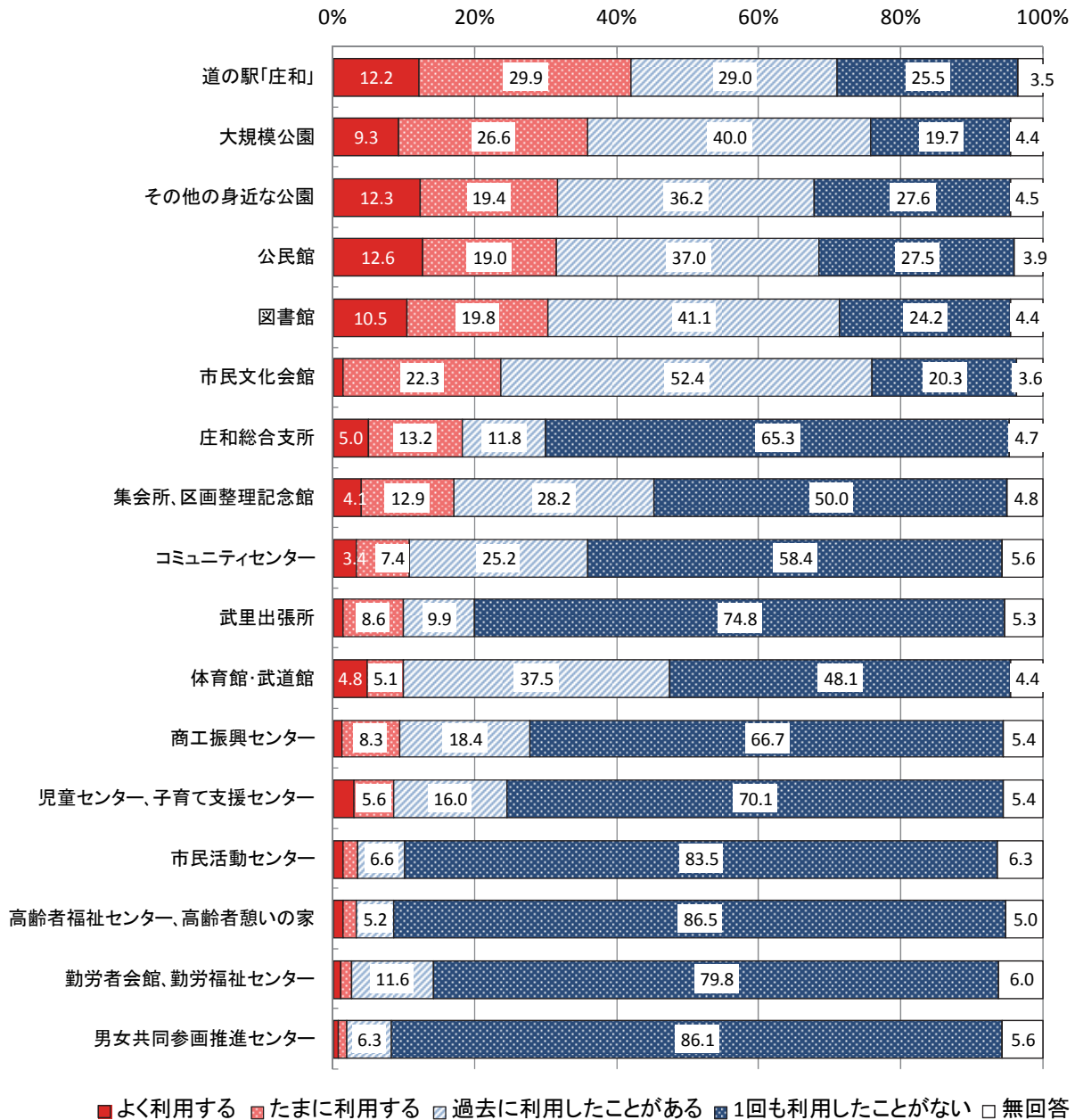


※「将来コスト」は一定条件(計画本編P21参照)に基づく推計値であり、今後の予算が確保されたものではありません。

(8) 市民アンケートの結果 ～抜粋～

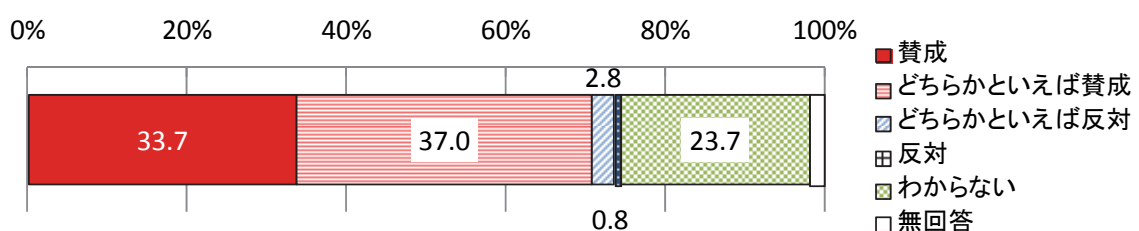
① 施設の利用状況について

✓「よく利用する」「たまに利用する」を合わせた割合が10%を下回る施設があります。



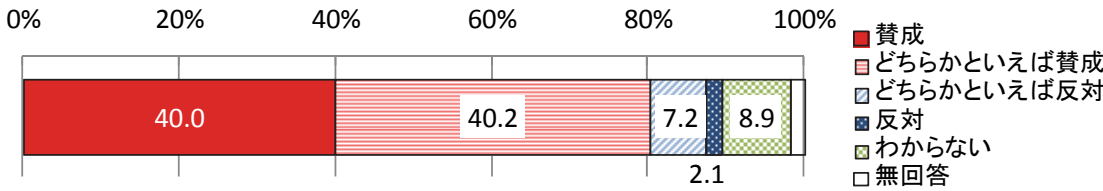
② 春日部市の公共施設マネジメントの取組について

✓「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた割合が70%を上回っています。



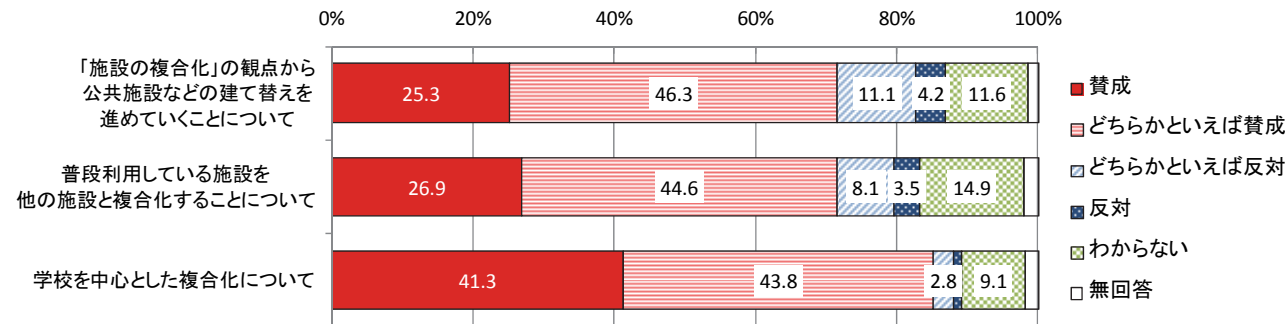
③ 施設の総量縮減による経費抑制について

✓「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた割合が80%を上回っています。



④ 施設の複合化について

✓「賛成」「どちらかといえば賛成」を合わせた割合が70%を上回っています。



(9) 施設利用者アンケートの結果 ～抜粋～

① 利用目的

✓複数の施設分類において「会議・会合」や「サークル活動」が上位を占めています。

施設名	1位	2位	3位
市民文化会館 (n=110)	会議・会合 33.6%	講座参加 30.0%	イベント・行事参加 14.5%
公民館・コミュニティセンター (n=1,602)	サークル活動 58.6%	軽運動 13.1%	音楽・演劇・舞踊・演芸 13.1%
市民活動センター (n=56)	会議・会合 55.4%	サークル活動 32.1%	地域活動 16.1%
男女共同参画推進センター (n=144)	サークル活動 64.6%	軽運動 19.4%	音楽・演劇・舞踊・演芸 8.3%
勤労者会館 (n=111)	サークル活動 69.4%	軽運動 12.6%	音楽・演劇・舞踊・演芸 11.7%
商工振興センター (n=158)	会議・会合 50.0%	学習会 20.9%	サークル活動 9.5%

(10) 本市の公共施設に関する課題のまとめ

① 老朽化や更新時期の集中への対応

昭和40年代から昭和50年代に整備された施設の老朽化や改修・更新時期の集中への対応が必要です。

ハコモノ施設は築30年以上経過している施設が約7割。今後は、施設の半分以上を占める学校を中心とした公共施設の再編が必要です。

② 稼働率の向上や施設機能の重複の精査

稼働率の低い施設の稼働率向上や、貸室的な利用など異なる施設分類間において、利用実態が重複している施設機能の精査が必要です。

③ 将来の人口を踏まえた延床面積縮減の目標設定

春日部市人口ビジョンにおける人口減少率(約20%)を踏まえた延床面積の目標設定や施設の整備・再編を行っていくことが必要です。

④ 財源不足額の解消

計画期間(31年間)の平均で、ハコモノ施設は34.1億円、インフラ施設は36.6億円の財源不足の解消を図っていくことが必要です。

⑤ 市民ニーズへの対応

市民アンケートや市民ワークショップ等の結果を踏まえ、今後の公共施設マネジメントの取組を進めていくことが必要です。

第2章 全体方針編

1 基本方針

【公共施設マネジメントの三つの視点】

■まちづくりの視点を重視する

地域の将来像を見据えた公共施設の適正な配置等の検討を行います。

■供給量の適正化を図る

将来の人口動向や財政状況を踏まえ、原則として新規整備は抑制することとし、公共施設のコンパクト化(統合・廃止、規模縮小等)を推進します。

■既存施設を有効活用する

計画的な修繕・改修による品質の保持に努め、可能な限り施設の「有効活用」を図ります。

2 取組方針

(1)ハコモノ施設における取組方針

■供給に関する方針

- ①施設総量の適正化 = 人口減少や財政状況を勘案し、施設総量を縮減
- ②新規整備の抑制 = 原則として新規整備を抑制(統合・廃止・規模縮小等)
- ③機能の複合化等による効率的・効果的な施設配置
- ④施設機能の見直し = 貸室的な利用など、機能や利用実態が重複する施設の見直し
- ⑤民間サービスと重複する施設への対応
= 民間サービスの普及状況を踏まえ、民間移行が可能なサービスの検討

■品質に関する方針

- ⑥予防保全の取組と安全性の確保
= 事後保全型から予防保全型への移行と施設の安全性の確保
- ⑦長寿命化の取組 = 今後も保持していく施設は、必要な改修を行い長寿命化
- ⑧時代を見据えた施設機能と社会的要求に対応した施設の整備
= 少子高齢化の進行を見据えた施設機能の整備

■財務に関する方針

- ⑨長期的費用の縮減と平準化
= 更新時期の集中を避けること等により歳出の縮減と平準化
- ⑩維持管理費の縮減 = 業務委託発注方法の見直しや包括管理委託の実施、指定管理者制度の導入
- ⑪民間活力の導入と新規財源の確保
= PFIなどPPP(公民連携)の手法の活用、跡地の売却や利活用
- ⑫廃止施設の有効活用 = 利用可能な建物については、他用途への転換など有効活用

(2) インフラ施設における取組方針

■ 供給に関する方針

- ① 社会構造の変化に対応した適正な供給
＝ 長期未着手事業の見直しを含めた、適正な供給

■ 品質に関する方針

- ② 予防保全の取組と安全性の確保
＝ 事後保全型から予防保全型への移行と施設の安全性の確保
- ③ 長寿命化の取組
＝ 施設を長寿命化し、ライフサイクルコストを縮減

■ 財務に関する方針

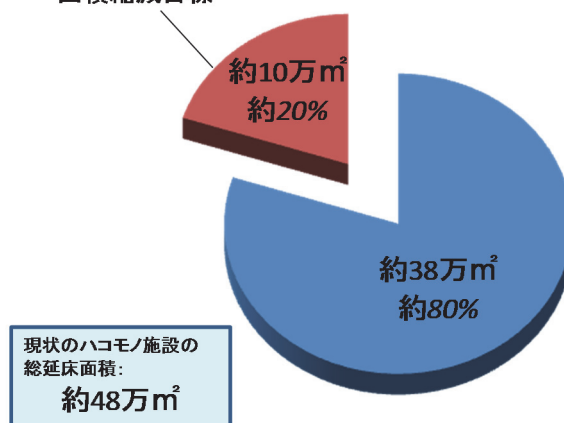
- ④ 長期的費用の縮減と平準化
＝ 更新時期の集中を避けること等により歳出の縮減と平準化
- ⑤ 維持管理費の縮減
＝ 業務委託発注方法の見直しや包括管理委託の実施、指定管理者制度の導入
- ⑥ 民間活力の導入と新規財源の確保
＝ PFIなどPPP(公民連携)の手法の活用

3 全体目標

【ハコモノ施設における全体目標】

- ・コストを年当たり34.1億円(計画期間の31年間で1,057億円)縮減する
- ・施設総量(延床面積)を約20%縮減する

面積縮減目標



【インフラ施設における全体目標】

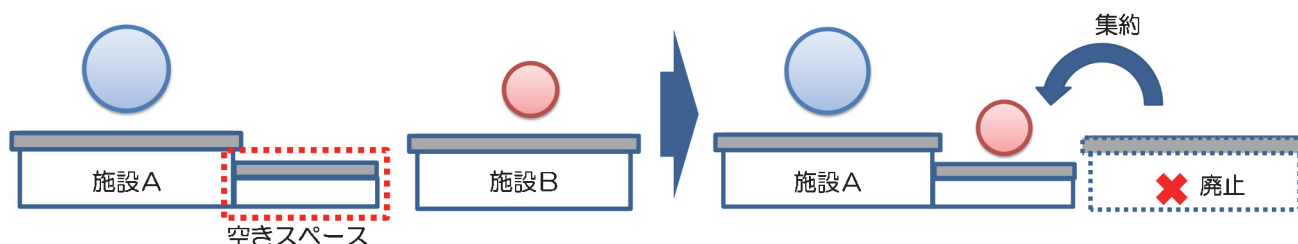
- ・インフラマネジメントを推進し、コストを年当たり36.6億円(計画期間の31年間で1,134億円)縮減する

※インフラマネジメント: 国が推進する「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、道路や水道管など分野ごとに個別計画を策定し、長寿命化や改修・更新費におけるコスト縮減を行うこと。

4 ハコモノ施設の具体的な取組方法

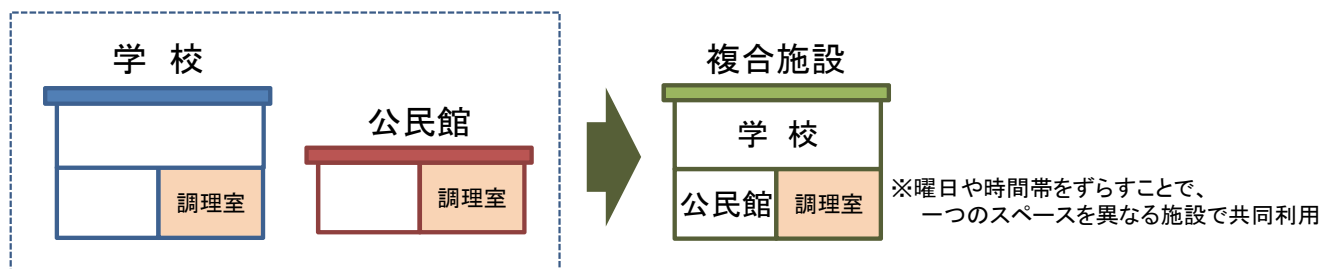
(1) 統合

設置目的が同じである複数の施設で、利用者が少ない場合や、将来的に減少が見込まれる場合、また、設置目的が異なる複数の施設で施設機能が重複している場合などに、サービス・建物ともに一つの施設に集約し、もう一方の施設を廃止する方法です。



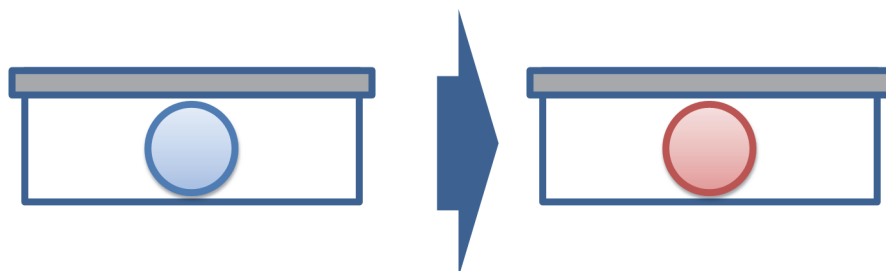
(2) 複合化・共用化

設置目的が異なる施設を、一つの建物に集約し、それぞれのサービスを継続しつつ、共通の機能を共同で利用する方法です。



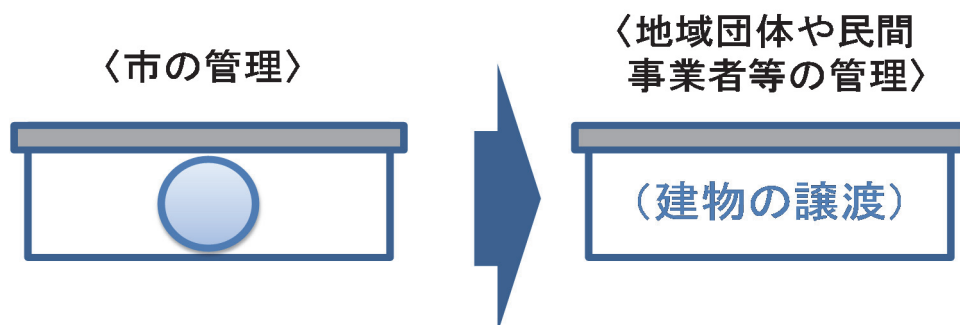
(3) 転用(用途転換)

利用されていない、あるいは将来的に利用の減少が見込まれるサービスを廃止し、他の用途に再生してサービスを提供する方法です。



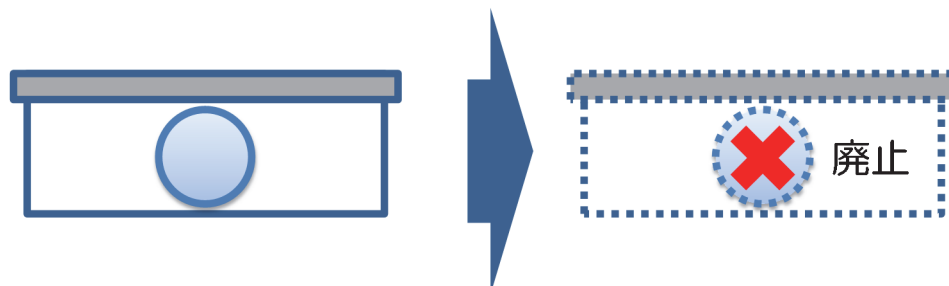
(4) 譲渡

市の管理から移行することが望ましいと考えられる施設について、地域団体や民間事業者等へ譲り渡す方法です。



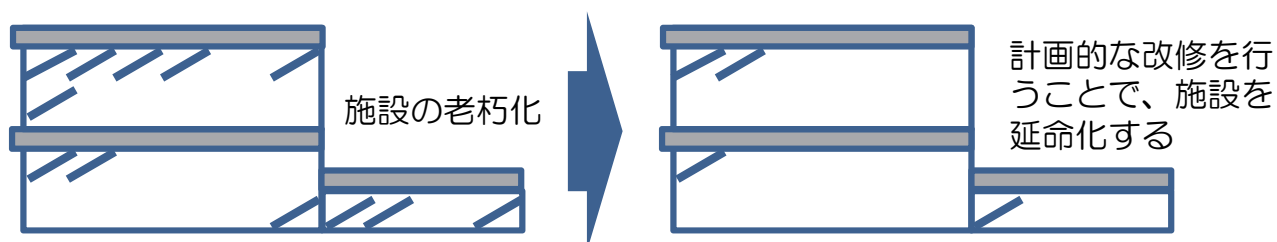
(5) 廃止

施設の安全性を確保できないことが確認された場合、あるいは、利用状況が著しく良くない場合などに、同施設でのサービスの提供をやめる方法です。



(6) 長寿命化

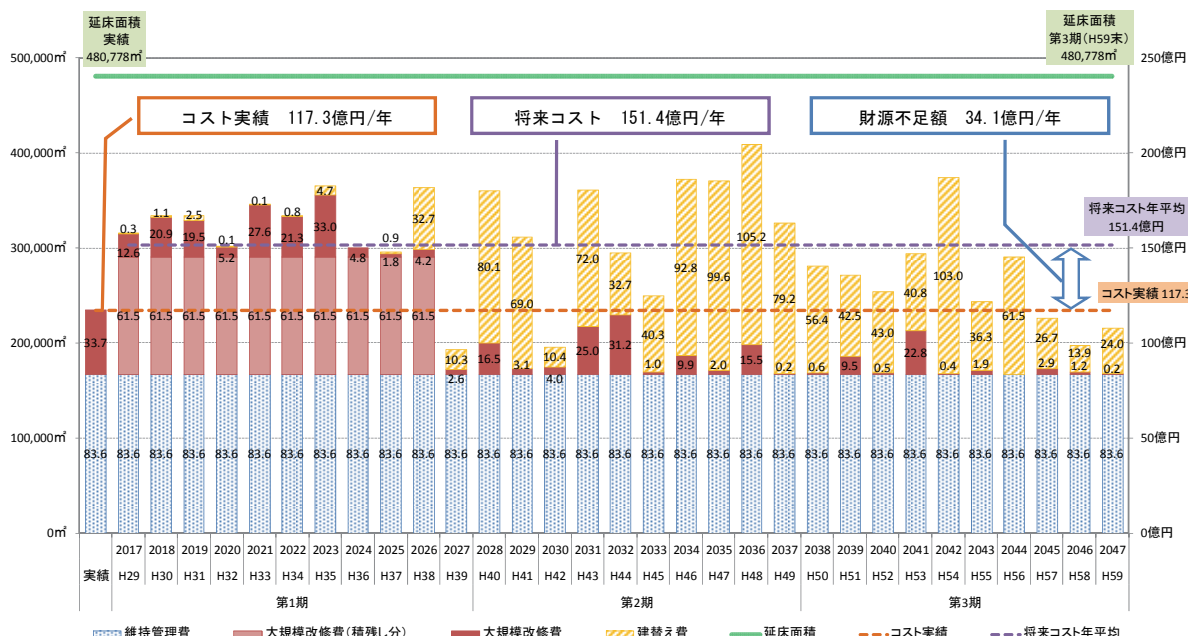
計画的な修繕・改修を行うことで、老朽化した施設の延命化を行う方法です。



5 ハコモノ施設におけるシミュレーション

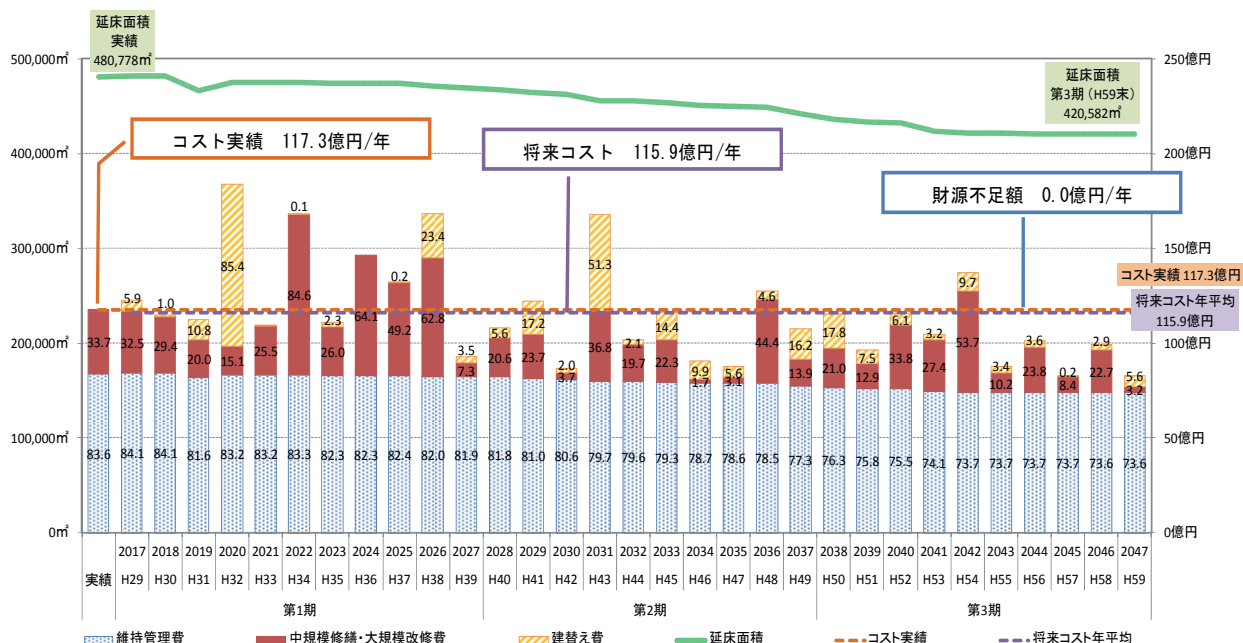
- ✓施設分類ごとに面積縮減や管理運営方法、長寿命化など、様々な角度からコスト縮減方法を検討し、シミュレーションを実施しました。

検討前(現状の施設総量を維持していく場合) ※再掲

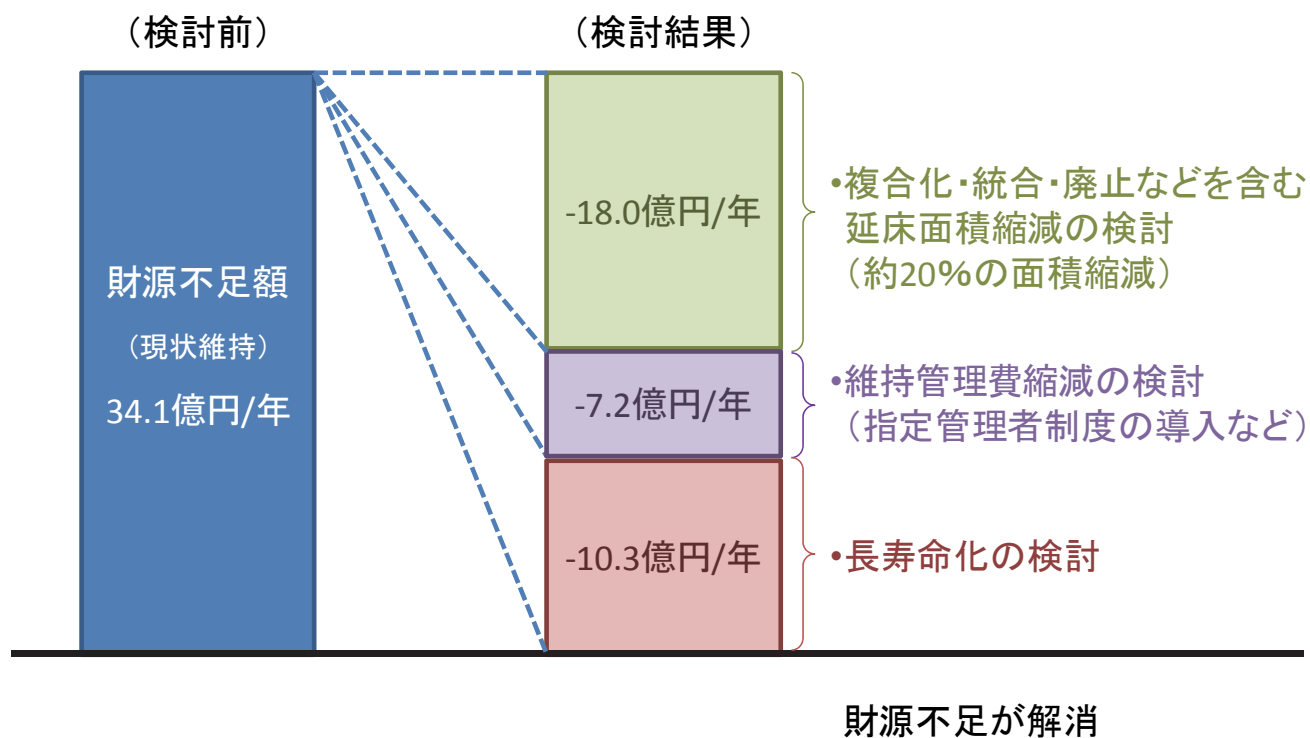


- ✓シミュレーション上では、ハコモノ施設の財源不足額約34.1億円/年は解消します。

検討結果(マネジメントの取組を行った場合 ＝ 面積縮減等の検討 ＋ 施設の長寿命化の検討)



【財源不足額(34.1億円／年)の解消のイメージ】



第3章 施設分類別編

○ 施設分類別編の内容

- ✓「施設分類別編」では、下記の表のとおり、ハコモノ施設を22、インフラ施設を13の中分類に整理し、分類ごとに現状・課題や個別方針、一定の条件設定(計画本編P69参照)に基づく大規模改修、建替え等を検討する時期の目安等を示しています。

ハコモノ施設		
大分類	No.	中分類
1 教育施設	(1)	1-1 学校
	(2)	1-2 教育関連施設
2 市民文化施設	(3)	2-1 市民文化会館
	(4)	2-2 図書館
	(5)	2-3 郷土資料館
3 コミュニティ施設	(6)	3-1 コミュニティセンター
	(7)	3-2 公民館
	(8)	3-3 集会所
4 スポーツ施設	(9)	4-1 屋内スポーツ施設
	(10)	4-2 屋外スポーツ施設
5 保健福祉施設	(11)	5-1 児童福祉施設
	(12)	5-2 高齢者福祉施設
	(13)	5-3 障がい者福祉施設
	(14)	5-4 その他の福祉施設
	(15)	5-5 保健センター
6 商工業施設	(16)	6-1 商工業施設
7 行政施設	(17)	7-1 庁舎
	(18)	7-2 保安防災施設
8 住宅施設	(19)	8-1 市営住宅
9 医療施設	(20)	9-1 病院
10 駐車場施設	(21)	10-1 駐車場施設
11 その他施設	(22)	11-1 その他施設

インフラ施設		
大分類	No.	中分類
1 道路施設	(1)	1-1 道路
	(2)	1-2 橋りょう
2 上水道施設	(3)	2-1 上水道施設
3 下水道施設	(4)	3-1 下水道施設(汚水)
	(5)	3-2 下水道施設(雨水)
4 河川施設	(6)	4-1 河川
	(7)	4-2 施設
5 公園施設	(8)	5-1 公園
	(9)	5-2 衛生施設
6 環境衛生施設	(10)	6-1 環境施設
	(11)	6-2 衛生施設
7 農業施設	(12)	7-1 農業施設
8 その他施設	(13)	8-1 その他施設

1 教育施設

1-1 学校

■ 施設概要



【粕壁小学校】

- ・小学校:24校
- ・中学校:13校
- ・学校プール:37施設
- ・給食室:28施設
- ・学校給食センター:1施設

■ 現状と課題

- ・築30年以上が経過している施設の割合は75.7%。
- ・児童生徒数の減少により、小中学校の学級数は減少傾向にあり、空きスペースが増えつつある。
- ・学校プールは修繕・改修の必要性が高まっている。
- ・教育委員会では、小中一貫教育及び学校再編の取組を進めている。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○小中学校

- ・児童生徒数の動向等を踏まえ、必要面積を精査する。
- ・小規模校や近い将来小規模校が見込まれる学校は、統合や施設一体型の小中一貫教育の可能性を検討する。
- ・「地域コミュニティの拠点」として複合化等を検討する。

○学校プール

- ・学校間での共用化や民間委託を検討する。

○給食室

- ・校舎内への整備を検討する。

○学校給食センター

- ・全体方針のとおり面積20%縮減を図る。
- ・PFI等の公民連携手法の活用を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

○大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設

- ・粕壁小学校、内牧小学校、豊春小学校、武里小学校、幸松小学校、豊野小学校、備後小学校、牛島小学校、緑小学校、上沖小学校、正善小学校、立野小学校、藤塚小学校、小淵小学校、南桜井小学校、川辺小学校、桜川小学校、春日部中学校、豊春中学校、大沼中学校、豊野中学校、緑中学校、大増中学校、葛飾中学校

○建替え等を検討する時期の目安を迎える施設

- ・幸松小学校、春日部中学校、武里中学校

○すでに方向性の検討が進んでいる、またはすでに方向性が定まっている施設

- ・宝珠花小学校、富多小学校、中野中学校、谷原中学校、江戸川中学校

1-2 教育関連施設

■ 施設概要



【教育センター】

- ・教育センター:1施設
- ・視聴覚センター:1施設
- ・教育相談センター:3施設
- ・全ての施設が、学校や公民館等との複合施設

■ 現状と課題

- ・築30年以上が経過している施設は教育相談センター大沼分館(大沼中学校)の1施設。
- ・教育センターは、住民異動に伴う転校などの手続の際に、市役所との行き来が必要になるなど、利便性の向上が課題となっている。
- ・視聴覚センターの利用は約7割が行政利用であり、市民利用の増加を図る必要がある。また、視聴覚機材における最新機材との機能差が課題となっている。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○教育センター

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。

○視聴覚センター

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。

○教育相談センター

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

○大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設

- ・教育相談センター大沼分館

2 市民文化施設

2-1 市民文化会館

■ 施設概要



【市民文化会館】

・市民文化会館：1施設

■ 現状と課題

- ・築30年以上が経過している。
- ・大ホールの座席数が1,500席と規模が大きく、周辺自治体からも広く利用されている。
- ・施設規模が大きいことを踏まえ、効率的に維持管理していくことが必要。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○市民文化会館

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。
- ・PFIや指定管理者制度等の公民連携手法の活用を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

- 大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設
- ・市民文化会館

2-2 図書館

■ 施設概要



【中央図書館】

- ・図書館：3施設
中央図書館
武里図書館
庄和図書館
- ・武里図書館は公民館と、庄和図書館は庄和総合支所等との複合施設

■ 現状と課題

- ・築30年以上が経過している施設は中央図書館と武里図書館の2施設。
- ・中央図書館は市の直営であるが、平成29年度から指定管理者制度を導入。武里図書館及び庄和図書館は指定管理者制度による運営。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○図書館

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。
- ・PFI等の公民連携手法の活用を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

- 大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設
- ・中央図書館、武里図書館

2 市民文化施設	3 コミュニティ施設
2-3 郷土資料館	3-1 コミュニティセンター
■ 施設概要  【郷土資料館】 (教育センター内) ・郷土資料館: 2施設 郷土資料館 文化財整理室 ・郷土資料館は、教育センターや視聴覚センターとの複合施設	■ 施設概要  【春日部コミュニティセンター】 ・コミュニティセンター: 4施設 春日部コミュニティセンター 庄和コミュニティセンター 市民活動センター 男女共同参画推進センター ・春日部コミュニティセンターと庄和コミュニティセンターは公民館と、市民活動センターは県パスポートセンターや春日部市保健センターとの複合施設
■ 現状と課題 ・築30年以上が経過している施設は文化財整理室の1施設。 ・今後、増え続ける文化財(出土品)などの収蔵スペースの確保が課題となっている。	■ 現状と課題 ・築30年以上が経過している施設は、春日部コミュニティセンターと庄和コミュニティセンターの2施設。 ・男女共同参画推進センターと市民活動センターは、市民アンケート調査結果では、一回も利用したことがない人の割合が高く、新規利用者の拡大に取り組む必要がある。 ・貸室的な利用割合が多く、類似機能を有する施設との統合等の検討が必要。
■ 個別方針(建替え時等の方向性) ○郷土資料館 ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。 ○文化財整理室 ・今後必要となる収蔵庫スペース等については、廃止施設の有効活用等により確保する。	■ 個別方針(建替え時等の方向性) ○コミュニティセンター ・統合を検討する。 ○市民活動センター、男女共同参画推進センター ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。
■ 第1期行動計画(H29～H39) ※該当なし	■ 第1期行動計画(H29～H39) ○大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設 ・庄和コミュニティセンター ○新規利用者の拡大に取り組む施設 ・市民活動センター ・男女共同参画推進センター

3 コミュニティ施設

3-2 公民館

■ 施設概要



【中央公民館】

- ・公民館: 17施設
武里地区: 4施設
その他の6地区: 2施設
粕壁地区公民館の旧建物: 1施設
- ・6施設が図書館や高齢者福祉施設等との複合施設

■ 現状と課題

- ・築30年以上が経過している施設は12施設。
- ・粕壁地区公民館の旧建物は、当初の役割を終え、現在は倉庫として使用。
- ・人口一人当たりの延床面積は0.10㎡/人であり、県内の6つの周辺自治体や同規模自治体の平均(0.06㎡/人)を上回っている。
- ・貸室的な利用割合が多く、類似機能を有する施設との統合等の検討が必要。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○公民館

- ・統合を検討する。
- ・複合化などにより、施設の効果的な活用を検討する。
- ・PFIや指定管理者制度等の公民連携手法の活用を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

○大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設

- ・武里地区公民館、豊野地区公民館、武里大枝公民館、庄和地区公民館

3-3 集会所

■ 施設概要



【武里地区集会所】

- ・集会所: 7施設
- ・区画整理記念館: 9施設
- ・全ての施設が単独施設

■ 現状と課題

- ・八丁目山中集会所を除く全ての施設(15施設)が築30年以上が経過している。
- ・集会所は自治会が所有・管理している割合が多いが、一部、市が所有・管理している。
- ・今後の集会所のあり方について、統一した方向性を検討する必要がある。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○集会所

- ・地域への施設譲渡や、地域による管理運営への移行を検討する。

○区画整理記念館

- ・地域への施設譲渡や、地域による管理運営への移行を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

※該当なし

4 スポーツ施設

4-1 屋内スポーツ施設

■ 施設概要



【総合体育館】

- ・屋内スポーツ施設: 4施設
総合体育館
市民体育館
市民武道館
庄和体育館
- ・全ての施設が単独施設

■ 現状と課題

- ・総合体育館を除く全ての施設(3施設)が築30年以上が経過している。
- ・年間利用者数は増加傾向。時期や時間帯により利用状況は異なるが、庄和体育館を除き稼働率は30%未満であり、集約化や運営効率化が求められる。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○体育館、武道館

- ・市民体育館及び市民武道館については、今後の利用状況や運営状況などを踏まえ、統合や集約化を検討する。
- ・複合化を検討する。
- ・PFI等の公民連携手法の活用を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

○大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設

- ・庄和体育館

4-2 屋外スポーツ施設

■ 施設概要



【牛島野球場】

- ・野球場: 5施設
- ・グラウンド: 9施設
- ・テニスコート: 5施設

■ 現状と課題

- ・野球場は全て有料、グラウンドは大沼運動公園のみ有料、テニスコートは3施設が有料。
- ・有料施設は指定管理者制度により運営。無料施設は市の直営。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○野球場、グラウンド、テニスコート

- ・今後の利用状況や運営状況などを踏まえ、集約化を検討する。
- ・無料施設については、受益者負担の観点から有料化を検討する。

5 保健福祉施設

5-1 児童福祉施設

■ 施設概要



【春日部第1センター】

- ・保育所: 10施設
- ・児童センター: 3施設
- ・子育て支援センター: 2施設
- ・放課後児童クラブ: 24施設
- ・児童発達支援センター: 1施設
- ・14施設が子育て支援センターや小学校との複合施設

■ 現状と課題

- ・築30年以上が経過している施設は16施設(保育所7施設、放課後児童クラブ8施設、児童発達支援センター1施設)。全体の40.0%。
- ・公立保育所に加えて民間認可保育園も整備されており、待機児童は少ない。
- ・児童センターは県内の同種施設の中でも入館者数が多い。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○保育所

- ・公立保育所から私立保育所・私立認定こども園への移行を進める。
- ・公立保育所として継続する場合には、複合化を検討する。

○児童センター

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。

○子育て支援センター

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。

○放課後児童クラブ

- ・原則として、学校の余裕教室の活用を図る。

○児童発達支援センター

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

○大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設

- ・豊野放課後児童クラブ(校舎内)、牛島放課後児童クラブ(校舎内)、正善放課後児童クラブ(校舎内)、藤塚放課後児童クラブ(校舎内)、小淵放課後児童クラブ(校舎内)、川辺放課後児童クラブ1,2(校舎内)

5-2 高齢者福祉施設

■ 施設概要



【高齢者福祉センター寿楽荘】

- ・高齢者福祉施設: 6施設
- ・高齢者福祉センター: 2施設
- ・憩いの家: 2施設
- ・高齢者憩いの家: 2施設
- ・高齢者福祉センター寿楽荘、大枝高齢者憩いの家は、公民館との複合施設

■ 現状と課題

- ・築30年以上が経過している施設は5施設。
- ・高齢者福祉施設は、施設によって設置目的や位置付けが異なっているが、同様の利用形態となっている。
- ・浴場が設置されている施設は維持管理費が高くなっている。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○高齢者福祉施設

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。
- ・浴場の廃止を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

○大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設

- ・高齢者福祉センター寿楽荘

5 保健福祉施設

5-3 障がい者福祉施設

■ 施設概要



【リサイクルショップ】

- ・障がい者福祉施設: 4施設
リサイクルショップ
ふじ支援センター
ゆりのき支援センター
ひまわり園
- ・全ての施設が単独施設

■ 現状と課題

- ・築30年以上が経過している施設はリサイクルショップ、ふじ支援センターの2施設。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○心身障害者通所支援施設

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、ふじ学園など周辺の公共施設との複合化を検討する。
- ・リサイクルショップとふじ支援センターの統合を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

※該当なし

5-4 その他の福祉施設

■ 施設概要



【総合福祉センター】

- ・総合福祉センター: 1施設
- ・健康福祉センター: 1施設
- ・健康福祉センターは武里出張所との複合施設

■ 現状と課題

- ・健康福祉センターは、健康増進センター、高齢者デイサービスセンター機能のほか、施設の有効活用として行政利用や関係団体等への貸出事業を実施している。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○総合福祉センター

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。
- ・PFIや指定管理者制度等の公民連携手法の活用を検討する。

○健康福祉センター

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。
- ・PFIや指定管理者制度等の公民連携手法の活用を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

※該当なし

5 保健福祉施設	6 商工業施設
5-5 保健センター	6-1 商工業施設
■ 施設概要  【庄和保健センター】 ・保健センター: 2施設 春日部市保健センター 庄和保健センター ・庄和保健センターは新館と旧館の2棟 ・春日部市保健センターは、県バスポートセンターや市民活動センター等との複合施設	■ 施設概要  【道の駅「庄和」】 ・商業施設: 4施設 ・商工振興センター: 1施設 ・勤労者会館: 2施設 ・庄和勤労者福祉センターは公民館等との複合施設
■ 現状と課題 ・庄和保健センターの旧館は、築30年以上が経過しており、使用頻度も少ない。 ・平成24年度より、庄和保健センターの職員を春日部市保健センターに集約し、各種検診等の実施時のみ庄和保健センターへ職員を派遣する体制に変更した。	■ 現状と課題 ・築30年以上が経過している施設は5施設。 ・ぷらっとかすかべは、民間の土地・建物を借り上げて設置。 ・商工振興センターは、耐震性能上の問題から建物は廃止。機能のあり方や方向性については検討中。 ・勤労者会館は、市民アンケート調査結果では、一回も利用したことがない人の割合が高い。
■ 個別方針(建替え時等の方向性) ○保健センター ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。 ・庄和保健センターの旧館は、施設の活用状況を踏まえて廃止を検討する。	■ 個別方針(建替え時等の方向性) ○商業施設 ・ぷらっとかすかべは、周辺の公共施設との再編等に合わせ、観光案内施設としての機能設置を検討する。 ・道の駅「庄和」は、公的団体への譲渡の可能性を検討した上で、建替えをする場合には全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。 ○商工振興センター ・建物は廃止し、機能はあり方を検討する。 ○勤労者会館 ・統合を検討する。
■ 第1期行動計画(H29～H39) ※該当なし	■ 第1期行動計画(H29～H39) ○大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設 ・庄和勤労福祉センター(正風館) ○すでに方向性の検討が進んでいる、またはすでに方向性が定まっている施設 ・商工振興センター ○新規利用者の拡大に取り組む施設 ・勤労者会館

7 行政施設

7-1 庁舎

■ 施設概要



【市役所】

- ・庁舎: 3施設
- ・総合支所: 1施設
- ・出張所: 1施設
- ・庄和総合支所は図書館や児童センターと、武里出張所は健康福祉センターとの複合施設

■ 現状と課題

- ・築30年以上が経過している施設は市役所、市役所第三別館の2施設。
- ・アイピー春日部ビルは、民間施設を一部借り上げている。
- ・市役所は、執務スペースや会議室等が不足しており、民間施設の一部借上などにより対応している。
- ・さらに、市役所は老朽化が進行しているとともに、災害時の拠点となるため、早期の対策が必要。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○庁舎

- ・分散している庁舎機能を集約した上で、コンパクト化を図る。
- ・新庁舎は、災害時の拠点として整備する。
- ・事業手法や工法(スケルトン・インフィルなど)の選定により、コスト縮減を図る。

○総合支所

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。

○出張所

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

○すでに方向性の検討が進んでいる、またはすでに方向性が定まっている施設

- ・市役所(別館を含む)、市役所第三別館

7-2 保安防災施設

■ 施設概要



【消防本部・春日部消防署】

- ・消防署・分署: 8施設
- ・分団: 14施設
- ・防災展示ホール: 1施設
- ・防災備蓄倉庫: 4施設
- ・消防本部・春日部消防署が防災展示ホールや防災備蓄倉庫と、その他の防災備蓄倉庫は学校施設との複合施設

■ 現状と課題

- ・築30年以上が経過している施設は10施設。
- ・特に春日部消防署武里分署は老朽化が進行している。
- ・コンテナ型倉庫は、衛生管理上の問題や維持管理費が多いため、対策が必要。

■ 個別方針(建替え時等の方向性)

○消防署・分署

- ・出動件数や女性職員の増員を図るための設備・装備の改善等を考慮し、基準面積575㎡～1,000㎡とする。

○分団

- ・設計の標準化による建替えコスト縮減等を検討する。
- ・複合化を検討する。

○防災展示ホール

- ・全体方針のとおり、面積20%縮減を図り、複合化を検討する。

○防災備蓄倉庫

- ・コンテナ型の倉庫から、防災拠点となる公共施設の建物内への設置に切り替えていく。
- ・基準面積60㎡程度とする。

■ 第1期行動計画(H29～H39)

○大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設

- ・春日部消防署豊野分署、春日部消防署幸松分署、庄和消防署、防災備蓄倉庫(藤塚小)、防災備蓄倉庫(小淵小)

○すでに方向性の検討が進んでいる、またはすでに方向性が定まっている施設

- ・春日部消防署武里分署

8 住宅施設	9 医療施設
8-1 市営住宅	9-1 病院
■ 施設概要  【西宝珠花住宅】 ・市営住宅：16施設 ・全ての施設が単独施設	■ 施設概要  【医療センター】 ・病院：1施設
■ 現状と課題 ・築30年以上が経過している施設は13施設。 ・さらに築50年以上の施設の大部分を木造住宅が占めている。 ・グランドソレイユは「借上型市営住宅制度」により整備。	■ 現状と課題 ・「春日部市立病院再整備計画」に基づき、市立病院を市立医療センターとして平成28年度に移転建替え。 ・地方公営企業法に基づく公営企業により運営。 ・地上8階建ての建物で、免震構造、自家発電設備等の災害対応機能を有する。 ・地域の拠点病院としての機能強化を図っている。
■ 個別方針（建替え時等の方向性） ○市営住宅 ・「市営住宅長寿命化計画」に基づき、長寿命化対象の5団地は、全体方針のとおり、面積20%縮減を図るとともに、管理代行制度の導入を検討する。 ・その他の団地は、借上型市営住宅制度に移行することで順次廃止する。	■ 個別方針（建替え時等の方向性） ○病院 ・平成28年7月に移転建替え済み。
■ 第1期行動計画（H29～H39） ○大規模改修を検討する時期の目安を迎える施設 ・緑町住宅、西金野井住宅 ○すでに方向性の検討が進んでいる、またはすでに方向性が定まっている施設 ・牛島住宅、大池住宅、藤塚第一住宅、藤塚第二住宅、藤塚第三住宅、花積住宅、備後住宅、東中野住宅、新宿新田住宅	■ 第1期行動計画（H29～H39） ※該当なし

10 駐車場施設	11 その他施設
10-1 駐車場施設	11-1 その他施設
■ 施設概要  【春日部駅西口自転車駐車場】 ・自動車駐車場: 2施設 ・自転車駐車場: 5施設 ・南桜井駅自転車駐車場のみ公衆トイレとの複合施設	■ 施設概要  【看護専門学校】 ・専門学校: 1施設 ・斎場・火葬場: 1施設 ・その他施設: 10施設
■ 現状と課題 ・春日部駅東口第1自転車駐車場、春日部駅中央第3・4自転車駐車場は現在使用していない。 ・自動車駐車場、春日部駅西口自転車駐車場、南桜井駅自転車駐車場及び豊春駅前自転車駐車場は有料。	■ 現状と課題 ・看護専門学校は築30年以上が経過しており、老朽化が著しく進行している。 ・埼葛斎場組合斎場は、春日部市、蓮田市、白岡市、杉戸町により組織された一部事務組合による運営。 ・その他施設は、当初の役割を終え、他の用途に転用されている施設が多い。
■ 個別方針(建替え時等の方向性) ○自動車駐車場、自転車駐車場 ・全体方針のとおり、面積縮減20%を図る。 ・利用台数に応じて縮小・廃止を検討するとともに、鉄道高架化にあわせた高架下空間の活用による集約化を検討する。 ・すでに閉鎖している春日部駅東口第1自転車駐車場、春日部駅中央第3・4自転車駐車場は、建物の解体を検討する。 ・無料自転車駐車場は、利用台数に応じて縮小・廃止を検討する。 ・有料自転車駐車場は、指定管理者制度の導入を検討する。 ・自動車駐車場は、都市施設としての位置付けや収益施設であることを考慮し、施設のあり方を検討する。	■ 個別方針(建替え時等の方向性) ○専門学校 ・市立医療センター周辺の既存施設への移転・複合化を検討する。 ○斎場・火葬場 ・構成市町全体の動向を勘案しながら、全体方針の面積20%縮減との均衡を図る。 ・PFIや指定管理者制度等の公民連携手法の活用を検討する。 ○その他の施設 ・施設の機能を再整理した上で基本的に廃止を検討する。 ・集会所は、地域への施設譲渡や地域による管理運営への移行を検討する。 ・旧沼端小については、廃止の方向性を決定し、平成29年度に民間事業者による跡地活用が進められる予定。
■ 第1期行動計画(H29～H39) ○すでに方向性の検討が進んでいる、またはすでに方向性が定まっている施設 ・春日部駅東口第1自転車駐車場、春日部駅中央第3・4自転車駐車場	■ 第1期行動計画(H29～H39) ※該当なし

1 道路施設

1-1 道路	1-2 橋りょう
■ 施設概要 ・一般道路: 延長約1,048.3km ・自転車歩行者道: 延長約3.6km ・事務所、付帯建築物等: 2棟 ■ 現状と課題 ・昭和40年代から平成初期に整備されたものが多い。 ・都市計画道路は事業化されていない路線が多数ある。 ・道路はこれまで、応急修繕を基本としている。 ■ 個別方針 ・将来都市構造を見据え、都市計画道路の廃止も含めた道路網の再構築を行う。 ・計画的な維持管理のため、事後保全型から予防保全型へ転換する。 ・平成29年度に「(仮称)都市インフラマネジメント(道路)計画」を策定予定。	■ 施設概要 ・橋りょう: 601橋(延長: 約3.9km) ・長さ15m未満の橋が569橋(94.7%) ■ 現状と課題 ・昭和40年代から平成初期に整備されたものが多い。 ・計画的な対応を行っていくことを定めた「橋りょう長寿命化修繕計画」を策定済み(平成23年度)。 ■ 個別方針 ・「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、計画的な維持管理を行い、今後50年間で維持管理費を71%縮減する。 ・平成28年度に「橋りょう長寿命化修繕計画」の見直しを実施。 ・橋りょうは、5年ごとに定期点検を行っている。

2 上水道施設

2-1 上水道施設	3 下水道施設
■ 施設概要 ・配水管・送水管・導水管: 延長約845.4km ・浄水場: 5施設 ・配水池: 13施設 ・混和池・着水井等: 8施設 ・事務所、付帯建築物等: 20棟 ■ 現状と課題 ・昭和40年代から昭和50年代の整備量が最も多い。 ・「アセットマネジメント手法を活用した水道施設長期更新計画」、「基幹管路耐震化(管路更新)計画」が策定済み。 ■ 個別方針 ・「アセットマネジメント手法を活用した水道施設長期更新計画」、「基幹管路耐震化(管路更新)計画」に基づき計画的に更新する。 ・浄水場は縮小を検討する。 ・今後40年間で更新に係る経費を28.3%縮減する。 ・広域化の可能性、資金確保計画の検討を進める。	3-1 下水道施設(汚水)／3-2 下水道施設(雨水) ■ 施設概要 ○汚水 ・管路: 延長約565.0km ・ポンプ施設: 2施設 ・事務所、付帯建築物等: 5棟 ○雨水 ・ポンプ施設: 8施設 ・事務所、付帯建築物等: 6棟 ■ 現状と課題 ・管路は昭和62年から平成7年までの整備量が多い。 ・整備後40年以上経過した施設の継続した維持管理及び維持補修の標準化を検討する必要がある。 ・全ての雨水ポンプ施設は築30年以上が経過している。 ■ 個別方針 ・「公共下水道長寿命化基本計画」に基づき、当面4年間の工事箇所を選定した「公共下水道長寿命化実施計画」を策定済み。 ・平成33年度以降は、上記計画から「(仮称)公共下水道ストックマネジメント計画」に移行予定。 ・市街化区域の整備(汚水)は、平成37年度までに完了予定。市街化調整区域は縮小を検討する。

4 河川施設

4-1 河川／4-2 施設	5 公園施設
■ 施設概要 ○河川 ・準用河川: 9河川(約29.7km) ・普通河川(水路): 約940.3km ○施設 ・排水機場・調整池等: 53施設 ・事務所、付帯建築物等: 3棟 ■ 現状と課題 ・台風やゲリラ豪雨等に対処するため、河川・水路施設の排水機能に加え、保水・遊水機能の向上が必要。 ■ 個別方針 ・「新方川、会之堀川流域における浸水被害軽減プラン」に基づき、河川と下水道の一体的整備を進める。 ・計画的な維持管理のため、事後保全型から予防保全型へ転換する。 ・平成29年度に「(仮称)都市インフラマネジメント(河川)計画」を策定予定。	5-1 公園／5-2 衛生施設 ■ 施設概要 ○公園 ・公園: 390施設 ・事務所、付帯建築物等: 3棟 ○衛生施設 ・便所: 68棟 ■ 現状と課題 ・借地による公園や小規模な公園が多い。 ・「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的な設備更新に取り組んでいるが、市民要望に対応する修繕もあり、必ずしも計画通りに進んでいない。 ■ 個別方針 ・都市計画公園の見直し、小規模公園の集約化を検討する。 ・計画的な維持管理のため、事後保全型から予防保全型へ転換する。 ・平成29年度に「(仮称)都市インフラマネジメント(公園)計画」を策定し、「公園施設長寿命化計画」を修正予定。

6 環境衛生施設	7 農業施設
6-1 環境施設／6-2 衛生施設	7-1 農業施設
■ 施設概要 ○環境施設 ・し尿処理施設:1施設 ・ごみ処理施設:3施設 ・再生資源処理施設:2施設 ・最終処分場:1施設 ○衛生施設 ・公衆便所:6施設	■ 施設概要 ・揚排水機場:3施設 ・事務所、付帯建築物等:3棟 ・農道、農業用排水路は他の施設分類に含まれる
■ 現状と課題 ・ごみ処理施設、し尿処理施設は老朽化が進んでいる。 ・クリーンセンター庄和は現在休止中。 ・単独の公衆便所は管理が困難。	■ 現状と課題 ・農道は、幅員が狭い箇所や未舗装の箇所が多い。 ・農業用排水路は、素掘り区間が多い。 ・築30年以上が経過している揚排水機場は、飯沼・赤崎揚水機場、幸松排水機場の2施設。
■ 個別方針 ・「一般廃棄物処理施設のインフラ長寿命化計画(個別施設計画)」に基づき、計画的な更新・維持管理を行う。 ・当初の役割を終えた施設は、廃止を検討する。 ・衛生施設は駅などへの一体的な整備を検討する。	■ 個別方針 ・農道、農業用排水路は、費用対効果を見極めて整備する。 ・幸松排水機場管理棟は、地元への移管・廃止を検討する。
8 その他施設	
8-1 その他施設	
■ 施設概要 ・事務所、付帯建築物等:3棟 ■ 現状と課題 ・全て土地区画整理事業や駅前再開発事業に伴って設置された事務所。 ・現在は別の用途に転用されているなど、当初の役割を終えている。 ■ 個別方針 ・廃止を検討する。	

第4章 地区別編

○ 地区別編の内容

- ✓「地区別編」では、「施設分類別編」で整理した施設を7つの地区に置き換え、第1期に大規模改修や建替えの検討時期を迎えるハコモノ施設について、「検討の時期」と「考えられる方向性・取組」を示しています。
- ✓「考えられる方向性・取組」については、一定の条件設定(計画本編P195参照)に基づくものであり、決定事項ではありません。

○ 地区別編でのハコモノ施設再編における基本的な考え方

- ✓地区での公共施設の再編にあたっては、「全体方針編」で示した「ハコモノ施設における取組方針」に基づき進めますが、その中でも下記で示しています基本的な考え方を柱として進めていきます。

(第2章「ハコモノ施設における取組方針」より抜粋)

③ 機能の複合化等による効率的・効果的な施設配置

- ・ 一つの機能のために一つの施設を建てるという従来の考え方を見直し、特段の理由がない限りは施設単体での建替えは原則行わず、施設の複合化・多機能化を進めます。
- ・ 複合化の際には、コストの縮減のみに主眼を置くのではなく、世代間交流やコミュニティの醸成に資する再編成を検討します。
- ・ 地域コミュニティの拠点や防災拠点としても重要な役割を担っている学校を中心とした再編成、複合化を進めます。

〔学校を中心とした再編成、複合化のイメージ〕



出典)学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議「学習環境の向上に資する学校施設の複合化の在り方について」(平成27年11月)

【粕壁地区】



■地区の概要

- ・粕壁地区は、市の中心部に位置し、北東側を縁取るように大落古利根川が流れており、地区内にある春日部駅を中心に、商業、文化、教育、行政などの様々な機能が集積し、春日部市の中心的な市街地を形成しています。
- ・地区内のほとんどが市街化区域となっており、なかでも春日部駅周辺では、中高層マンションが多く立地しています。
- ・ふじ通りやユリノキ通り等の多くの幹線道路があります。
- ・春日部駅周辺では、連続立体交差事業を埼玉県(事業主体)と一体となって推進し、併せて、中心市街地のまちづくりを進めています。

■公共施設の状況

- ・地区内には、春日部駅を中心に、市役所、市民文化会館、中央図書館、市民活動センター、中央公民館、総合福祉センター、市立医療センター、教育センターなど、市レベルの施設を含め、多くの公共施設が立地しています。
- ・地区内に学校は小学校3校、中学校2校の計5校あり、そのうち春日部中学校は第1期に建替えの時期を迎えます。
- ・地区内には市レベルの施設、地区レベルの施設を含めて数多くのコミュニティ施設がありますが、稼働率が高い施設も見られるため、統合や運営方法の見直し等を検討する必要があります。
- ・市役所は旧耐震基準の建物であり、老朽化が進行しています。

【第1期行動計画】

施設名	第1期(平成29～39年)			考えられる方向性・取組	
	前期	中期	後期	条件	
粕壁小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。	② 施設の複合的な利用を検討します。
緑小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。	② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。
春日部中学校 建替え:1棟 大規模改修:1棟	方向性検討		建替え期 (目安)	① 施設の継続利用を検討します。	② 施設の複合的な利用を検討します。
緑中学校 大規模改修:1棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。	② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。
市民文化会館	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。	② 施設の複合的な利用を検討します。 ⑤ PFI等公民連携(PPP)の手法活用を検討します。
中央図書館	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。	② 施設の複合的な利用を検討します。 ⑤ PFI等公民連携(PPP)の手法活用を検討します。
商工振興センター	建物は廃止(機能はあり方検討)	-		⑥ 耐震性能上の問題から建物は廃止とします。	跡地については、有効活用を検討します。
市役所(別館を含む)	建替え期 (目安)	-		⑥ 耐震性能上の問題から施設を建て替えます。	建替えに当たっては、分散している庁舎機能を集約化した上で、施設の複合的な利用を検討します。 別館は他用途の施設への転用を検討します。

【内牧地区】



■地区の概要

- ・内牧地区は、市の北西部に位置し、その南北と東側を河川に囲まれており、地区内にある北春日部駅、隣接地区にある春日部駅や八木崎駅から徒歩圏にあるエリアで、住宅地などの市街地が形成されています。
- ・武里内牧線やかえで通り等幹線道路があり、地区の南東部に市街化区域、北西部に市街化調整区域が広がっています。
- ・国道16号バイパス沿いに、工場地帯が形成されているエリアがあります。
- ・北春日部駅の駅西側は、まちづくりエリアに指定されています。
- ・豊富な緑地や農地、鎮守の森や塚内古墳群等の歴史・文化的な資源が残されています。

■公共施設の状況

- ・地区内に学校は内牧小学校1校のみで、中学校はありません。内牧小学校は、第1期に大規模改修の時期を迎えます。
- ・地区内のコミュニティ施設としては、公民館2施設のほか、市所有の区画整理記念館が2施設となっています。
- ・地区内にある埼玉葛斎場組合斎場は、広域施設となっています。

【第1期行動計画】

施設名	第1期(平成 29～39 年)			考えられる方向性・取組	
	前期	中期	後期	条件	
内牧小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。	

【幸松地区】



■地区の概要

- ・幸松地区は、市の北部に位置し、大落古利根川をはじめ4本の河川が流れており、地区内にある藤の牛島駅、隣接地区にある春日部駅や北春日部駅から徒歩圏にあるエリアで、住宅地などの市街地が形成されています。
- ・西宝珠花春日部線や春日部松伏線等の幹線道路があり、地区の南西部に市街化区域、北東部に市街化調整区域が広がっています。
- ・香取神社や小淵山観音院、浄春院等の歴史を物語る史跡が分布しています。

■公共施設の状況

- ・地区内に学校は小学校3校、中学校1校の計4校あり、そのうち幸松小学校は第1期に建替えの時期を迎えます。
- ・地区内のコミュニティ施設としては、公民館2施設のほか、市所有の集会所が2施設となっています。
- ・地区の南東部には、ふじ学園、ふじ支援センター及び第6保育所が隣接しているほか、近隣にリサイクルショップが立地しているなど、保健福祉施設が集積しています。リサイクルショップは、老朽化が進行しています。
- ・地区南部に立地している春日部第1児童センターは、県内でも有数の利用実績があります。

【第1期行動計画】

施設名	第1期(平成29～39年)			考えられる方向性・取組	
	前期	中期	後期	条件	
幸松小学校 建替え:1棟 大規模改修:2棟	方向性検討		建替え期 (目安)		① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 周辺小学校との統合の可能性を検討します。
牛島小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】				① 施設の継続利用を検討します。 ③ 必要な機能を精査した上で、施設の複合的な利用を検討します。 ④ 周辺小学校との統合の可能性を検討します。
牛島放課後児童クラブ					
小淵小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】				① 施設の継続利用を検討します。 ③ 必要な機能を精査した上で、施設の複合的な利用を検討します。 ④ 周辺小学校との統合の可能性を検討します。
小淵放課後児童クラブ					
防災備蓄倉庫(小淵小)					

【豊野地区】



■地区の概要

- ・豊野地区は、市の南部に位置し、大落古利根川と中川の2つの河川に挟まれており、隣接地区にある藤の牛島駅や一ノ割駅から徒歩圏にあるエリアで、住宅地などの市街地が形成されています。
- ・春日部松伏線やユリノキ通り等の幹線道路があり、地区の北部に市街化区域、南部に市街化調整区域が広がっています。
- ・国道4号バイパス沿いに、工場地帯が形成されているエリアがあります。
- ・常楽寺などの寺社が点在し、銚子口香取神社や赤沼香取神社には獅子舞が奉納されています。

■公共施設の状況

- ・地区に学校施設は小学校2校、中学校1校の計3校あり、第1期に建替え時期を迎える学校はありません。
- ・地区内のコミュニティ施設としては、公民館2施設のほか、市所有の集会所等が2施設となっています。
- ・地区の西部に住宅施設が多く立地しています。

【第1期行動計画】

施設名	第1期(平成 29～39 年)			考えられる方向性・取組	
	前期	中期	後期	条件	
豊野小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ③ 必要な機能を精査した上で、施設の複合的な利用を検討します。 ④ 周辺小学校との統合や施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
豊野放課後児童クラブ					
藤塚小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ③ 必要な機能を精査した上で、施設の複合的な利用を検討します。 ④ 周辺小学校との統合や施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
藤塚放課後児童クラブ					
防災備蓄倉庫(藤塚小)					
豊野中学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
豊野地区公民館	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。	

【武里地区】



■地区の概要

- ・武里地区は、市の南部に位置し、東武伊勢崎線（現・東武スカイツリーライン）開通に伴う沿線のミニ開発と、昭和30年代に開発された武里団地により市街化が進んだ経過があり、地区内にある武里駅や一ノ割駅から徒歩圏にあるエリアで、住宅地などの市街地が形成されています。
- ・野田岩槻線等の幹線道路があり、地区の東部に市街化区域、西部に市街化調整区域が広がっています。
- ・武里団地では、一時期に同世代の市民が住み始めたため、高齢化が加速化しています。

■公共施設の状況

- ・地区内に学校は小学校6校、中学校3校の計9校あり、そのうち武里中学校は、第1期に建替え時期を迎えます。学校同士が近接して立地しているところも見られます。
- ・地区内のコミュニティ施設としては、公民館4施設のほか、市所有の集会所等が4施設となっています。
- ・公民館と高齢者福祉施設の複合施設や、図書館と公民館の複合施設、出張所と健康福祉センターの複合施設などがあり、施設の複合化が進んでいます。
- ・春日部消防署武里分署は、老朽化が著しく進行しています。

【第1期行動計画】

施設名	第1期(平成29～39年)			考えられる方向性・取組	
	前期	中期	後期	条件	
武里小学校 大規模改修:1棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 周辺小学校との統合や施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
備後小学校 大規模改修:1棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 周辺小学校との統合や施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
上沖小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。	
正善小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ③ 必要な機能を精査した上で、施設の複合的な利用を検討します。 ④ 周辺小学校との統合や施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
正善放課後児童クラブ					
武里中学校 建替え:2棟	方向性検討	建替え期 (目安)		② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
大沼中学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ③ 必要な機能を精査した上で、施設の複合的な利用を検討します。	
教育相談センター大沼分館					
中野中学校	廃止とし、新たに中学校を設置	-		⑥ 谷原中学校と統合し、現中野中学校敷地内に新たな中学校を設置するため、改修を行います。	
武里地区公民館	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ③ 必要な機能を精査した上で、施設の複合的な利用を検討します。	
高齢者福祉センター寿楽荘					
武里大枝公民館	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ③ 必要な機能を精査した上で、施設の複合的な利用を検討します。	
武里図書館					
春日部消防署武里分署	建替え等を検討	-		⑥ 老朽化が著しく進行しているため、建替え等を検討します。	

【豊春地区】



■地区の概要

- ・豊春地区は、市の西部に位置し、地区内にある豊春駅、隣接地区にある春日部駅や八木崎駅から徒歩圏にあるエリアで、住宅地などの市街地が形成されています。この市街化区域の南部・西部・北部には、それぞれ市街化調整区域が広がっています。
- ・さいたま春日部線やユリノキ通り等の幹線道路があります。
- ・地区の東部に位置する大沼公園周辺や南部に位置する総合体育館周辺にスポーツ施設が集積しており、今後はその付近に「新たな森」(県営公園)が整備される予定です。

■公共施設の状況

- ・地区内に学校は小学校3校、中学校3校の計6校あり、第1期に建替え時期を迎える学校はありません。児童・生徒数の減少により、小規模校となり多くの余裕教室を抱える学校(宮川小学校、谷原中学校)も見られます。
- ・地区内のコミュニティ施設としては、公民館2施設のほか、市所有の集会所等が3施設となっています。
- ・総合体育館を中心に、スポーツ施設が集積しています。

【第1期行動計画】

施設名	第1期(平成 29～39 年)			考えられる方向性・取組	
	前期	中期	後期	条件	
豊春小学校 大規模改修:1棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 周辺小学校との統合や施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
立野小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
豊春中学校 大規模改修:1棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
谷原中学校	廃校	-		⑥ 中野中学校と統合し、現中野中学校敷地内に新たな中学校を設置します。	
大增中学校 大規模改修:1棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。 ④ 施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	

【庄和地区】



■地区の概要

- ・庄和地区は、市の東部に位置し、地区内にある南桜井駅周辺に、住宅地などの市街地が形成されています。この駅周辺の市街化区域を除き、地域の大部分に市街化調整区域が広がっています。
- ・松伏春日部関宿線や西宝珠花春日部線、藤塚米島線等の幹線道路があります。
- ・国道4号バイパスと国道16号バイパスが地区の中心部で直交しています。交差点部周辺は、大規模なまちづくりエリアに指定されており、東埼玉道路の誘引が予定されています。
- ・北東部の西宝珠花地区は、古くから河川交通の要衝として発達し、町屋や蔵など歴史的な建築物、神明貝塚の遺跡などの資源が残っています。

■公共施設の状況

- ・合併前に整備した公共施設が多くあり、他地区より公共施設の数が多くなっています。
- ・地区内に学校は小学校6校、中学校3校の計9校あり、第1期に建替え時期を迎える学校はありません。児童生徒数の減少により、過小規模校となっている学校(宝珠花小学校、富多小学校、江戸川中学校)や、小規模校となっている学校(中野小学校、飯沼中学校)が見られます。
- ・庄和体育館を中心に、スポーツ施設が集積しています。
- ・庄和総合支所・庄和図書館・庄和児童センター、庄和コミュニティセンター・庄和地区公民館・庄和勤労福祉センター、庄和南公民館・教育相談センター庄和分館、庄和第1保育所・庄和子育て支援センターなど、すでに複合化されている施設が比較的多くなっています。

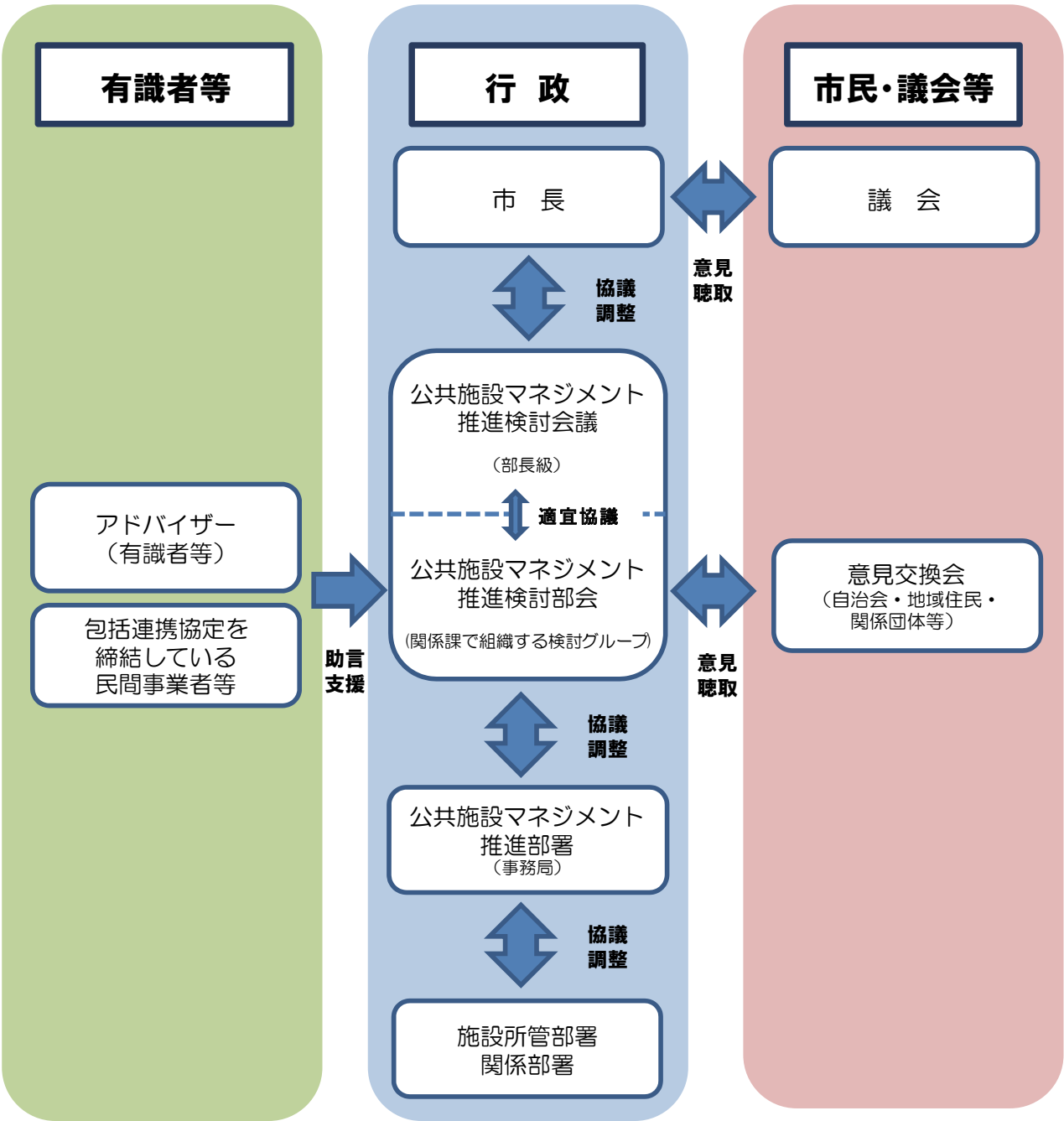
【第1期行動計画】

施設名	第1期(平成 29～39 年)			考えられる方向性・取組	
	前期	中期	後期	条件	
宝珠花小学校	廃校	-		⑥ 宝珠花小学校、富多小学校及び江戸川中学校を廃止し、現江戸川中学校敷地内に施設一体型義務教育学校を設置します。	
富多小学校					
南桜井小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。	
川辺小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ③ 必要な機能を精査した上で、施設の複合的な利用を検討します。 ④ 周辺小学校との統合や施設一体型小中一貫校の可能性を検討します。	
川辺放課後児童クラブ					
桜川小学校 大規模改修:2棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。	
江戸川中学校	廃校とし、新たに施設一体型義務教育学校を設置	-		⑥ 宝珠花小学校、富多小学校及び江戸川中学校を廃止し、現江戸川中学校敷地内に施設一体型義務教育学校を設置します。	
葛飾中学校 大規模改修:3棟	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】			① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。	
庄和コミュニティセンター	-	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】		① 施設の継続利用を検討します。 ③ 必要な機能を精査した上で、施設の複合的な利用を検討します。	
庄和地区公民館					
庄和勤労福祉センター	-	方向性検討(取組実施) 【大規模改修期】		① 施設の継続利用を検討します。 ② 施設の複合的な利用を検討します。	
庄和体育館					

第5章 計画の推進編

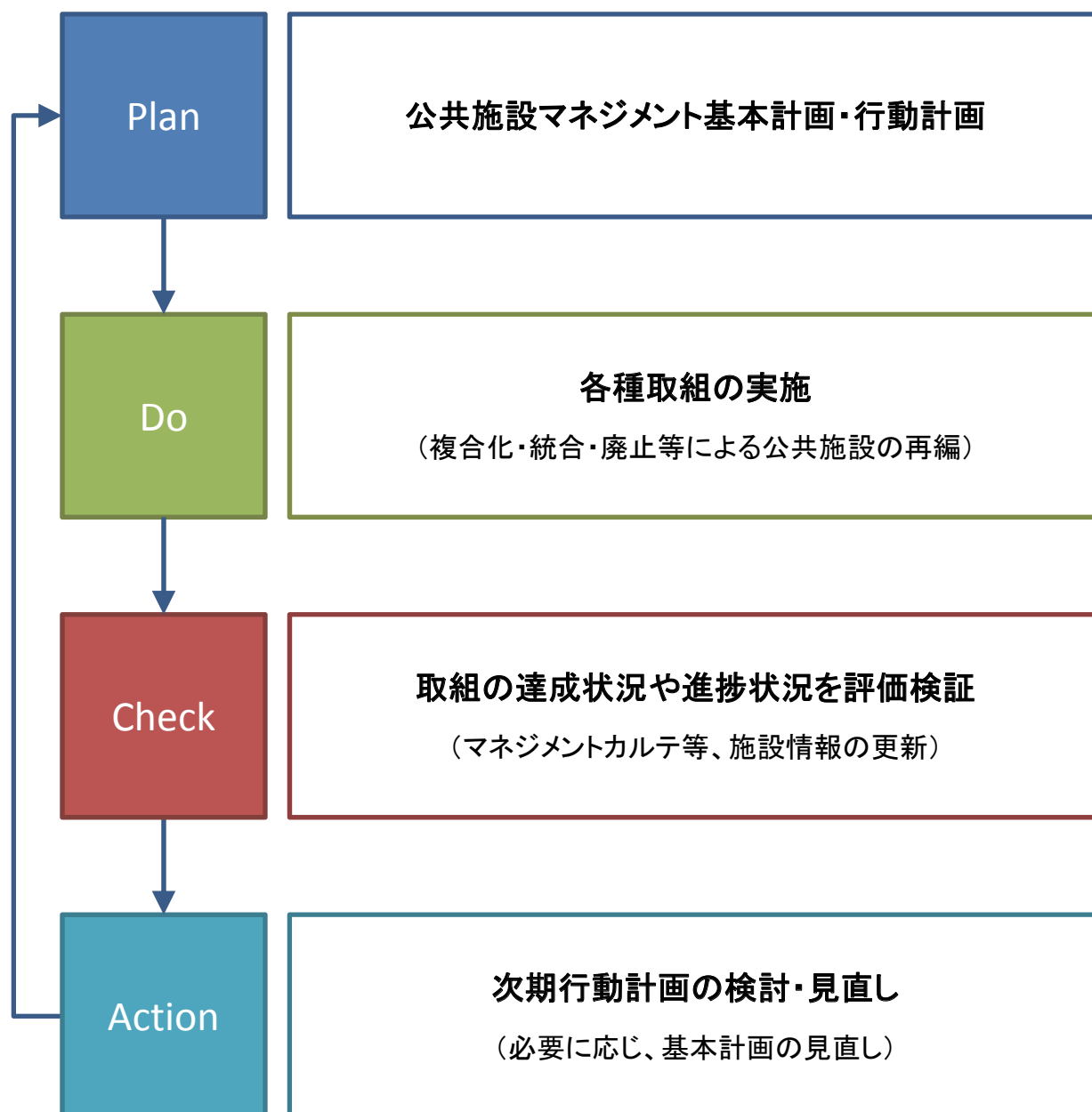
1 計画の推進体制

✓計画で掲げる取組(複合化等)を進めていくため、全庁横断的な体制を整備します。



2 計画の進行管理

✓PDCAサイクルに基づき、継続的に計画・事業を進行管理していきます。



春日部市公共施設マネジメント基本計画 概要版

発行	春日部市
編集	総合政策部行政改革推進課
作成	平成29年3月
	〒344-8577 埼玉県春日部市中央六丁目2番地
	電 話:048-736-1111(代表)
	E-mail:gyosei@city.kasukabe.lg.jp
	U R L : https://www.city.kasukabe.lg.jp/



春日部市



+1のあるまち
kasukabe

